婦人新報

第三百二十五號

我らの目標

世界の
平和・純潔・禁酒

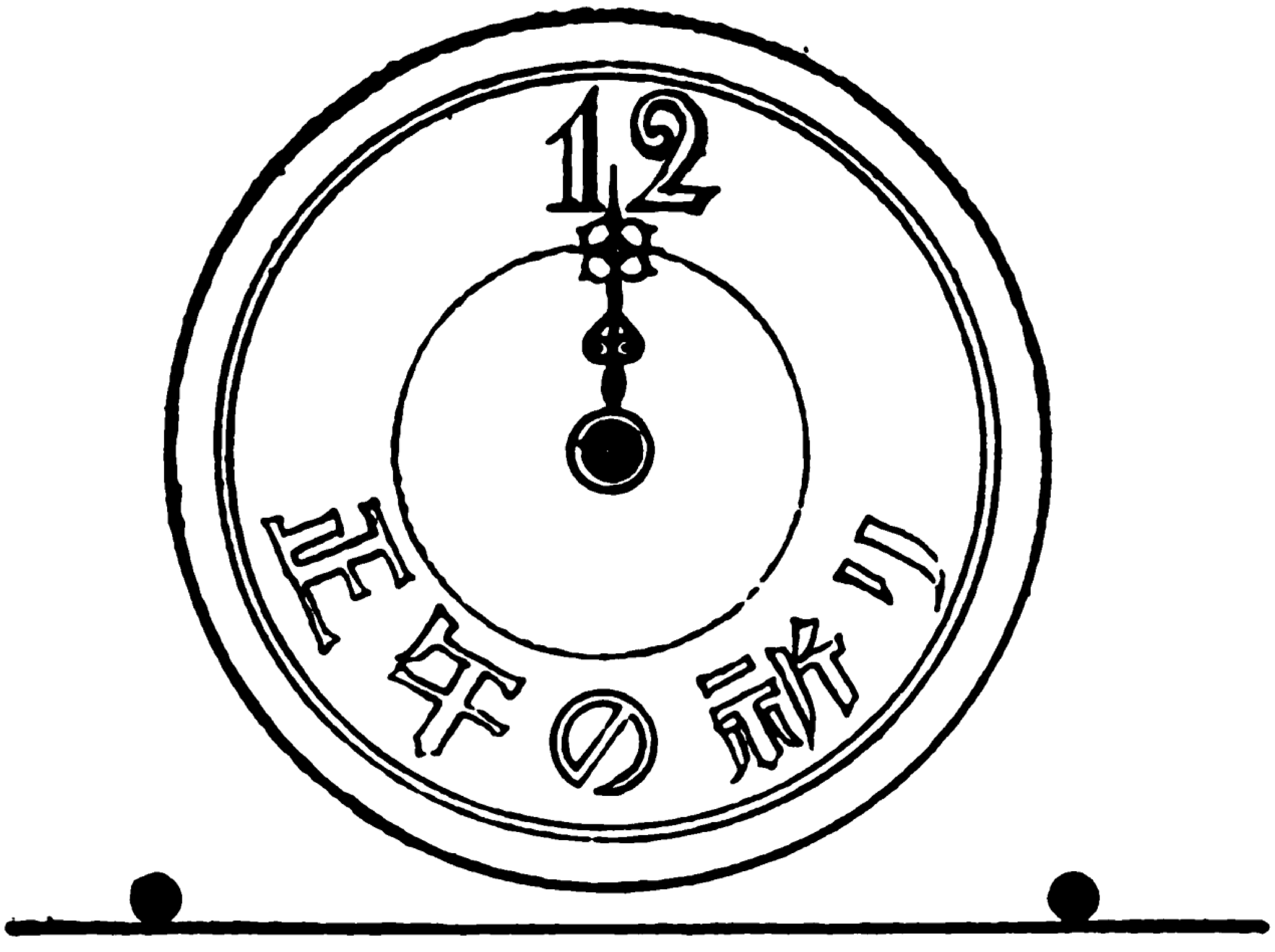
二月號

基督教婦人矯風會

第三百二十五號目次

FUJIN SHIMPO

No. 325. **CONTENTS** Feb. 1925



手を鋤につけてのち、後ろを顧みる者は、神の國に適ふ者にあらず」

ルカ傳九章六十二節

終始一貫第一也

これをこのみことばの意であると信じます。

矢島楫

實行第一

會頭　小崎千代

　昨年は、震災直後の第一年として、社會的にも個人的にも、可なり多忙な年でございました。殊に、その間には、あの複雜な日米問題も惹起しました。

　けれ共、お互に矯風會に連らなつてゐる私共は互に力を合せて、目的を一つにして心を合せつゝ働き、六千の會員が一人の神の前に一つの人格のやうに仕事をすることが出來、苦しみも又喜びも、共に分ち、分かたれて來ることの出來ましたことは、誠に感謝にあまりあることでございます。

　更に今年は、愈々一致團結して、私共の共通の目的のために共に盡したいと存じます。

　世界の平和、純潔、禁酒を目標とする私共は、公娼制度撤廢の運動、純潔の教育、平和運動、更らに、少年少女の禁酒教育を徹底するために盡さなければなりませぬが、今度は、あらたに、婦人參政權獲得、婦人公民權承認の要求といふやうな大きな使命をも持つて居るわけであります。

　設立以來數年間の沈默を破つて日本婦人參政權協會が口火を切つたのが動機となつて、終に適當の階梯を經た後、出來上つた婦人參政權獲得期成同盟會は、既に、婦人參政權獲得を唯一つの目的として一般婦人を糾合して實際運動に着手して居ります。この方面の仕事にも私共は又、多大の使命を殊に感ずるものであります。

　どうか今年は、實行の年として、凡て實行第一に致したいものであります。私共が祈ること、献金をすること、そればかりでは充分とは申されませぬ。祈りは實行を伴ふやうに、献金はそれを活用するやうに、さうして出來る丈け、努めて集會にも出席することと致したいのでございます。

　愈々來る四月上旬には金澤支部に於て第卅六回全國大會を開催致すのでございますが、この大會には各支部から出來る丈け多くの代員が御出席になることを、お勸め致します。大會に出席して、その大會の空氣に觸れる、各支部の會員お互がお知り合ひになりお友達になる、さうして、必らず何等かの感激と、教育と力強さとをお感じになることが出來ると信じます。「實行の年！」これを今年の目標として進みたいと存じます。

廣告と道德

久布白落實

一

先頃市の交通の便利を助くる爲出來た、私營自動車が、あの不恰好な車體の後ろに、サクラビール、札幌ビールなどの廣告をぶら下げて、新宿から、四谷見附へと走つて居た時、誰れしも、餘り教育的でないと思ひました。然し幸ひに其後この廣告は取除かれて、心ある人々に一種の安心を與へました私は今日市民の目に觸れる一番有力な廣告は、電車では有るまいかと思ひますが、この電車内で、時々酒の廣告を見て誠に不愉快に思ひましたが、最近、電車どころでなく、電車切符乘換券の裏までが廣告に利用せらるゝのを見て、大道局長の敏腕に驚くと共に、一言この問題について思ふ事を述べて、諸兄姉の教を乞ひ度いと思ひます。

二

由來新聞にしても、又雜誌にしても廣告料と云ふものは其收入の大部分を占むるものでせう、新聞經營者の言によれば新聞は賣れる程損だ、然し、廣告料がそれ丈け高くなり又入るのでやつて行けるとさへ云はれるやうですが、私共門外漢から見ても、今日廣告と云ふものが、新聞雜誌の經營に就てどんなに大きいものかと云ふ事は考へられぬ事はありませぬ從つて、この廣告に對して、社會良心の必要と云ふ事を今更のやうに感ずるものです。

三

大正五六年頃に、小橋三四子女史が、經營して居られた、婦人誌に、「婦人週報」と云ふのが有りました、牛込の邊に事務所をかまへて三四人の記者や、事務員を置き、毎週數千の購讀者を以てやつて居られましたが、いつも禁酒廢娼の社會

道徳を主張して、之をふりかざして行かれるので、獨力經營の困難な事業は更らに困難を加へて居ました。怪しき廣告や誌の主張を裏切るやうなものは一度もありませんでした。

四

米國は拜金の國で、凡ての事は弗が決定してゆくやうに思はれて居ますが、然しこの問題に關しては、餘程社會良心が訓練されて居ます禁酒運動が漸々ものになりかけて來た時に、一番人々の注意をひいたのは、この廣告の問題でした、新聞でも雜誌でも、其莫大な、廣告料を犧牲にして、此の主義に立つのは中々容易な業ではありませんでした。然し社會の信用ある新聞雜誌は、先んじて之を斷行しました、卽ち酒や酒屋の廣告は一切載せない方針を取つたのです。

五

私は此の前の電氣局長、長尾半平氏の時、一度電氣局をお尋ねして何とかして、電車内の廣告中に酒の廣告を入れぬ工風は有りますまいかと、御尋ねした事があります、其時長尾氏は答へて申されました、自分も是非さうやり度いが、一ヶ年何程で受負になつて居るから、全部入れぬと云ふ事は出來ぬ、然し自分は一つの方法を設けて、風俗に害ある廣告に出來る丈け不利益であるやうに仕掛けて居ると申されました、今度大道氏が局長とならるゝや、就任早々回數券の裏に酒屋の廣告が出ました、つゞいて日々の乘換劵にも廣告が始まりました、かくして今日まで不用の裏面が活用されて大きな利源を局及び從業員に與ふることは結構には違ひありませぬが、功を求むるあまりに、日々何十萬の市民が見其のうちには大多數の少年少女、青年男女が見る、この切符裏に、種々酒の名の廣告を見ることは誠に心す可き事ではないかと思ひます。

六

今や我國では酒の爲めに一ヶ年間に約十五億の金を費して居ます、然し全國の大中小の學校、我國の青年、少年、第二國民の教育には四億圓を費すに過ぎませぬ、今日全國擧つて政府にせまつて居る教育費增額問題でも、僅かに其額は一千萬圓に過ぎませぬ、この十五億の十分の一減じても一億五千萬圓は有ります、百分の一減じても一千五百萬圓は浮ぶわけです、節約の有ゆるものを合しても、酒と煙草の費用の前に

は損失にも有りませぬ、この酒を、市民全體が、毎日使用する電車の中に出し、又は切符に廣告するなどは、餘り目先きの見えぬ仕事では有りますまいか、或ひはこれが現從業員の待遇費の内に運ばれるのか知れませぬ、然し僅かに數十萬圓の金を得る爲めに、法によつて禁ぜられて居る飲酒を小學生中學生にすらそゝり立てるやうな、切符の裏に取り換へ引き換へ酒の廣告を出すと云ふ事は、決して賢明なる當局者の措置と云ふ事は出來ぬと思ひます。

七

我國は元來武士の國で、封建制度の後を受けて、金錢を輕んじました從つて金に關係する事は、糞尿を汲み取る如くそれ自身臭氣あるものゝ如く考ふる習慣が、何時となく養はれて居ます。從つて金錢に關する訓練が至つて不行屆きであるやうに思はれます、この廣告などと云ふ事は、其れ自身決して不正な事では有りませぬが、若し、社會に對し個人に對して害を爲す事業に關して其料金が多いと云ふ角で、平氣でかゝる廣告を以つて、紙面を埋むると云ふ事は、社會の開拓者指導者を以つて任ずる文筆業者の執る可き事でないのではありますまいか。

八

國家的排酒と云ふ事は目下我國を救ふ最上の策です、若し國民が舉つて一ヶ年禁酒、禁煙すれば、此處に十八億と云ふ金は浮いて來ます、それに附屬する肴代、藝妓代、丈けでも二十億を突破します、外債返還位は、直に出來る話です、不景氣を乘越す位るは何でもない事です、それを實行するの途は何處にありませう、凡べての機會を利用して酒を國民に呑ませぬやうにする事です、今年我國では、始めて軍隊に對し攝政宮より酒肴の代品に菓子を賜つたさうです、又宮中の御宴の時すら酒を呑む必要なきやう、他の飲料を供して下さるとの事です、又攝政宮に於ては一切嚴正禁酒、禁煙を實行して居らるゝとの事です、今日の未成年者卽ち丁年までの男女二千五百萬人が充分にこの主旨に徹底して行くなれば、こゝ二十年の内には今日の二十一歳から四十歳までの二千二百萬人を押しやつて、新らしき新時代の子が、日本を形成するわけです、我國を廢酒國と爲すや否は、かゝつてこの十年に有ると云うても過言でない有樣です、この場合、我國としては、

民間の營業者は止むを得ぬとしても、宗教家、教育家、警察官、官吏等は凡べての機會にこの未成年の、禁酒法、を支ふる爲めに力を盡すべきでは有りませぬか。

九

新らしき時代には新らしき問題が起り又同時に新らしき道德を生み出さねばなりません廣告に對する道德の如きも亦一つの新らしいものかも知れませぬ、然し今日は宣傳の時代です、善惡ともに宣傳なくしては、誰れも知る事が出來ませぬ從つて廣告は、今日の時代一つの缺く可らざる要素です。新聞雜誌の如き、辻の廣告屋内の廣告、屋上の廣告いづれを問ひませぬ凡べて風紀に害ある、又害あり易き商品又は營業を廣告し、又さする事は取りもなほさず惡を增長せしむるもので之れに對して相當の考慮を爲すは當然のことでせう。

私は、官營の事業等に僅かの實力の爲め、酒の廣告等までも引き受けて省みないと云ふ事は餘りに市民の將來、ことに我が次代の國民の發達を無視することゝ思ひます、私はこの方面に於て新らしき年は更に一歩の進歩又覺醒を爲す必要が有ることゝ思ひます。

十

宣傳に關連して今年私共は、最も喜ぶ可き報導を有して居ます、それは守屋東氏が、憲十年計畫を以て、我國の公私の學校二萬六七千の小學校に向つて禁酒、禁煙の教育運動を開始せられた事です、今赤坂のバラック事務所には、印刷物、書物筒の山が出來て居ます。日々五百八百千と筒は用意されて全國津々浦々までこのポスターと煙草の話とは送られつゝあります、これに我國の禁酒法及禁煙法の掛物が添うて居ます、この爲めに每年千圓向ふ十ヶ年を約束された方々もあります、この山が一つ〳〵全國の各學校に飛んで、そこの校長教師方の手から、口から教子等にこの教育の傳へらるゝを思ふ時感謝に堪へざる喜びが心から湧き出ます、更らに大阪に於ては林副會頭の手によつて、家庭向きの禁酒ポスターと畫ハガキが用意されこれも數萬のものを全國に散されつゝ有ります、これらが家々に入つて若き人々の心に及ほす力は大きなものと申さねばなりませぬ、私共はこの國家的又、民族的大事業を完成する爲めに善を助け妨げを除き新らしき心を以つて更らに新年に入り度いと思ひます。

科學と禁酒

工學博士　佐藤定吉氏口述

私は科學と禁酒といふ題目で科學上の立場から、今日の禁酒問題を如何に取扱ふべきかに就て、意見を述べたいと思ひます。

先刻も熊谷博士から御懇篤なお話のあつた如くに、既に酒が生理上有害無益であるといふことは、殆んど議論の餘地のないことゝ存じます。近來日本に於ても盛に禁酒問題は論ぜられて居りますけれども、その大部分は吾々の身體と、如何なる關係があるか、又延いては我等の子孫と遺傳的には如何なる交渉があるかの問題に就て、主として論ぜられてゐるやうでありますが、私は自分の專門の立場で之を別の見方から酒の問題を考察して見たいと思ふのであります。

近代科學と酒とは重大なる關係を有してゐると思はれます。少くとも私の見るところでは、今日の禁酒運動は飲酒による肉體又は子孫に及ぼす弊害を論ずる時は、既に過ぎてゐると思はれます。今日の禁酒問題は實に國家の興亡問題に關してゐる。日本の帝國が亡びるか興るかに關係してゐると思ひます。此の結論を科學の立場から諸君の前に持ち出して訴へたいと思ふのであります。既に御承知の通り、今日の日本國民が酒のために消費する金額だけで十二億圓を突破してゐる。之に要する米の石數は約六百萬石である。日本が外債に依つて苦しんでゐる額は二十億圓、その過半の額を酒にしてゐるのであります。即ちその金で家庭を紊亂し、社會に大きな毒害を流してゐるのです。今日本は種々の方面に行詰つてゐるが、我等が貧乏國であるために軍事に於ても教育に於ても、一切金がない、その爲に行詰つてゐるのであります。吾等は二十億の金の返濟に苦しんで、財政豫算の緊縮が論ぜら

れてゐます。最も大切な教育費を削つて、國民が是非返さねばならぬと考へてゐるのであります。その教育費は一體どの位國民全體にかけられてゐるかと云へば、一切の教育費が資金を合せて僅かに二億圓――、僅に二億圓の金がないために大切な國民教育まで犧牲にしてゐるのであります。その實例を擧げれば帝國大學に於て、何うしても研究しなければならぬ國家的の仕事のために、東洋開發のために、是非遂行せねばならぬ筈の研究を控へてゐる大學の一教室に、研究費に一萬圓の金がない爲に有能な教授や、前途ある學士が手を束ねて空しく過してゐる。日本の經濟が伸びない爲に、從つて文部省の豫算がなく、空しく學者を遊ばせてゐるのであります。其の一方には國民が十二億圓の金を酒にしてゐるのであります。

私共は十數年前、まだ學生時代に、工業が發達しない爲に、獨逸から年々染料を年額一千萬圓許り輸入致しました。日本の內地では到底出來ない、出來ないのではなく廉價が高くついて競爭が出來なかつたのであります。然し國家の爲に日本にも出來なければならぬといふ處から發心して、研究を續けたのであります。そして歐洲大戰中に染料の輸入が一時杜絕した爲、政府は補助を加へて、日本染料株式會社が出來たわけであります。然し十數年間多くの學者が頗る苦心して來たのですが今日なほ全然防壓し得ないのであります。今日の學者が自分の研究によつて五十萬圓の數字を擧げるためには餘程の苦心であります。日本に於ては特許が幾十萬に達してゐます。然しこの有益な特許も資本がない爲に反古になつてゐるのであります。

多くの有益な特許も、金がないため持ち腐れとなつてゐるが、國家のために、それでは幾ら學者が一生懸命になつた處で、五十萬圓の金はおろか、十萬圓の金も殖すことは非常な困難であります。一方には十數億の金を酒にして、外債に苦しんでゐるのを幾ら學者が骨を折つて、十年二十年三十年の努力を續けても、現在の如く國民全體が覺醒する處なく、相かはらず僅かの欲を充たすために酒を飲んでゐるならば、幾ら學者が千萬人出てきても及ばない、丁度大きな甕に穴があいてゐるのも知らないで、その破れた甕に貴い腦漿水を注ぎこんでゐるやうなものであります。日本の國の將來は實に寒

心に堪へないのであります。學者が國を富ます。新しい發見をしても、之を開拓する道がなければ反古となつてしまふのであります。まづ内に顧みて國を負債より救ふことが大切だと思ひます。我國では酒に十二億を費し、煙草に二億圓遊興費に七億を使つてゐます。之を集めたなら、僅に二十一億圓を使つてゐます。今や外債によつて頭痛鉢卷をしてゐるのに、之等を節約したなら一ケ年に容易に償還し得るのであります。

この一事を能く心に感銘すれば自分一人の欲望で、日本の國を亡すか、國家を興すか、國家の興亡に關する事を思ひ廻らす時に、口に盃をもつて行くことが出來ない筈であります。昨日まで美味であつた酒も今日は味を失ふ筈であります。それをも顧みないで晩酌に一夜を送ることは國家に對し之より不忠不義のことはないと思ひます（拍手）

□

日本の國は外敵に向つても日清日露、日獨の戰爭にうち勝つた。その強い國民が内部の小さな欲望に對しては世界で一番弱い國民であります。戰爭に勝つて酒に降參してゐる、お互に顧みて何と恥しいことではありませんか。

國家の興亡に關する一大問題もその原因を尋ねれば一人一人の不注意から出發する事が多い、諸君も御承知の通り、之を獅子身中の蟲とも名づけませうか。獅子は百獸の王であります。獅子の坐つてゐる時には、獸は尾を垂れて逃げる。けれど獅子の内部に蛆蟲が湧いてくると百獸の王も病氣となつて蛆蟲には敵しない、獅子の病氣は癒らぬけれども生きてゐる限りは、凡ての獸は皆逃げてしまふ。

病氣のため遂に獅子が起ち難くなり終には蛆蟲が這ひ出して來る、猫でも兎でも恐る〳〵近よつてみると、生きてゐるけれど動くことは出來ない、獅子身中の蟲が始めて現はれるときに死んでゐると判斷し、喰ひ潰して餌食にしては、流石の獅子も鳥のつんざく屍となつてしまひます。これと同樣に十數年の昔に世界に名を轟かした獅子の如き武勇の國民の中から、今日獅子身中の蛆蟲が内部より現はれんとしてゐるのではありますまいか。米國をして我が日本に向つて排日問題を起し、國威を失墜させる樣な蛆蟲が國民の中から外部に現

はれてゐるのではありますまいか、又昨日の判決件（難波大助）の如き獅子身中の蟲も出る。その事實をもつて推すならば、二十億圓の外債を一ヶ年にして返し得るのに、酒に負け煙草に負けてゐるのは意氣地のない國民だらうと思ひます。眼にも見えない黴菌のために吾々國民は毎日幾千となく死んで居りますが、この黴菌より以上に恐しい害毒を與へるのは酒と煙草と劣慾とであります。

かういふ點から酒に就いては、科學的の立場から攻究する事は、大切な問題であると思ふのであります。更に之を根本的に考へる事は實に必要です。酒は前述の如く非常に大きな害毒を流してゐるが、酒そのものが害毒があるか何うかといふことを考へる必要があると思ひます。由來失敗することも成功するのも自分に與へられるものを濫用するか活用するかの一事に依つて分けられるものであります。

お金持ちの主人が番頭に金を托して、之を出來るだけ活用するために、使つて貰ひたいといふときに、番頭が主人の望み通りに、主人の心のやうに活用するならば、番頭は賢明にして且つ立派である。けれども其の番頭が主人から使へと與へられたお金を恣に濫用したとすれば、其處には大きな犯罪が起きてきます。さうして解雇される、即ち托された使命を果せば善になりそれを惡用するときに惡になる。酒に於てもそこに眞理はありますまいかと思ひます。

從來の人は、酒は惡いと一圖に云つてしまふが、之はなるほど火に違ひない、然し一面から考へて酒でなければ達し得られない使命があるならば、それを見出してそれに使用する事を考へなければならぬ。たゞ酒を惡いといふのは不徹底であると思ひます。酒の毒を發見し之を徹底的に撤廢せしむると同時に、又酒の本來の使用を發見して何處までも善用する處まで禁酒運動を徹底させなければならないと思ふのであります。

□

自然界には一貫した哲理が有ます。即ち「自然界に豐富に存するものは最も廣く活用される。之に反して微量しかないものは、又それでなければならぬ特殊の用途がある」との原理で有ます。それで自然界の事について少し許りお話してお

きたいのです。二十萬種以上の種々の物質がある。而して何れも各自獨特の使命を有して居る。その使命を果させ、活用させることは容易なやうであるが中々さうでない、この用法を誤れば極めて大なる害毒になることもある。鐵は地球上到る處にあります。諸君が見られる赤土の赤い色は主として酸化鐵です。鐵は文化の生活に對して一日もなくてはならぬ必要な役目をもつてゐる。今日の文化は鐵がなかつたならば存在し得ない、建築でも汽車でもみんな左樣です。お釜がない、鐵瓶がない、吾等の生活が出來難くなるのです。それを活用するならば、このやうに文化を築き上げることも出來るが、之を惡用すれば殺人の道具ともなり、强盗の兇器にもなります。また一方に極めて稀に存在するラジウムの如きも、微量だからなくてもよいかと云ふにさうでない。

今日癌腫を癒すものは實にラジウムであります。卽ちラジウムは癌の人には著しい役に立つ、キユリー夫人がラジウムを發見しました。その發する光りを手掛りにして今日の物質觀革命の電子論が生れてきました。ラジウムの發見に依つて從來の科學は根本的に覆されたのです。物質萬能ではなくなつたのです、最近に於ては宇宙の物質の一切は電子からなるといふ眞理が發見されました。此處に金銀銅鐵といふ物質があるが、それらの物質があるのではない、實は電子があるのみである。電子の質量は水素の約千七百分の一でその直徑は一センチメーターの一億分の一を更に一億分して更に今一度一億分して、その百分の一といふ微粒子であります。その電子が一つ中心の周圍を廻轉すると水素になり、六個集まれば炭素になる。七個集まれば窒素となり、八個集まれば酸素となる、段々に數が增加して金、銀、銅、鐵にもなるのです。故に水銀から金が出來ることも、電子論からみて極めて明かな事であります。斯る偉大なる發見もラジウムが發見されてからであります。すべての物質はたゞ電子から成り立つてゐるといふ結論は、實に驚くべきものであります。水といふものが此處にありますが、水があるのではない、たゞ水素二分子と酸素一分子があるので、更に奥深い處をみれば水素があるのではなく、また酸素があるのではなく、たゞ電子があるのです。物質の見方が最近の科學の發達によつて全く異つてきました。鐵は有用なものでありますが、ある丈では役に立

たないのです、これをその性質に應じて活用せねばならない、水は谷川を奔る時には、たゞの水であるが、之もその中に潜む大きな使命をもつてゐる水力を活用して水力電氣とせなければならぬ。之を更に活用して電燈ともなり、電車をも走らせる。もつてゐる本來の性質を最も適當に働かす。それを活用する處に大なる眞理の道が見出される。無線電信電話もみなその應用に過ぎないのです。幾千萬哩との通信も出來る。電氣で人を殺したからと云つて電氣が惡いのではない。之を用ふる人の活用の方法が惡かつたので、決して物そのものに罪はないのである。之を惡用する人が惡いのである。酒にしても同じ眞理が成り立ち得る。酒が非常な害毒があるといふが之は酒の使ひ方を濫用してゐるので、酒それ自身の罪ではない。之を飲む人の罪である。吾等は、すべからく酒の有する獨特の貴い使命を考へ、酒を活用せなくてはならない。之を活用すると、濫用すると、一個人の幸不幸、事業の失敗成功の岐れる處となり、一國が興るか、亡びるかの大問題に係はるのです。酒を弊害あるものとするのは酒を濫用する結果で、そこに大きな誤謬と嘆きがある所以です。從來酒はその缺點と短所のみが人の手に依つて發揮されてゐたのですが、今後は惡い方面を轉じて之を善用し、その唯一の使命を果させるのが私共人間の當然の道でないかと信じます。

□

現代の日本に於いては禁酒問題は實に一轉して國家の興亡存廢の問題になつて居ります。禁酒運動は是非日本の全國民に訴へて、遂行せねばならぬ一大問題でありますが、同時にまた、酒といふ古い毒物に新しい尊い使命をさづけて酒の弊害を斷つと同時に、新しい任務を完ふせしめねばならぬことと存じます。新しい使命とは何か、これ即ち燃料としての獨特なる使命であります。酒は飲料としてゞはなく、燃料として使用すべきものであります。酒を飲料として使用するは今日の科學の見地からみて、間違ひの最も大きなものであります。本問題は實に今日の產業上より見て、重大な國家的問題であると信じます。先に申上げたやうに、十二億圓の金を酒に消費しつゝあるに反し、民族自立上一日も忽せになし能はぬ燃料問題は何うかといふのに、極めて貧弱にして今危機に

迫つてゐるのであります。日本の國は御承知の通り、年々六十萬人の人が生れてくる。六十萬人の人の殖えるために、政府は南米其の他に移民を一生懸命に奬勵してゐるが、これも容易な業ではない。近來はブラジルも移民制限の聲を昂めつつあつて前途樂觀を許されない。毎年人口は殖えるばかりであるのに此の國民の生活を保護すべき肝要な燃料問題が極めて不安定であることは殊に憂慮に堪へないことである。燃料と云へばその重なるものは石炭に石油及び木材である。

その石炭は日本だけの量では僅かに一等炭は今後年を出でずして消費されて仕舞ふ筈だと云はれてゐる。石油の如きは僅かに越後に産するだけで、而もそれが殆んど餘分が幾らもない。もしも今戰爭でも起れば日本の總べての石油をもつてしても一等戰鬪艦を一週間支ふるに足らない、如何に忠勇の將卒があつても軍艦が動かねば萬事休す、である。石油はアメリカと支那に多く産する。日本の石炭は八億噸と見つもられてゐるが、支那では一兆噸と調査されてゐる。アメリカも殆ど無盡藏である。石油はアメリカが全世界の七二、四パアーセントの産量を有し、日本は僅かに〇、二パーアセントであります。重要な液體燃料がないために、毎年六十萬噸を輸入してゐるので、そのため多額の金を拂つてゐるが、若しも何かの間違ひで外國から燃料が來ない場合があるとか、また支那と行き違ひになつて、石炭が來ない時に、日本國民は自滅するより外に途がない。怖るべき死地に臨んで居るやうなものであります。

飛行機と云ひ自動車と云ひ潜航艇と云ひ、石炭を使ふ時代は去つて、ガソリンを使ふ時代になつてきました。今後文明國民の一番に目を注ぐ焦點は、液體燃料の爭奪戰である。各國は出來る丈手を擴げて開發されない源産地を探つてゐる。液體燃料の多寡が今後の文明國を支配する將來如何に文明を發達させようとしても、石油がなければ到底夫は出來ないことである。此の點に氣がつかないで日本の現代の國民が安閑として酒をのみ、青年男女は惡い風紀にみち〳〵、家庭は紊亂を極めてゐる。

酒をのんで石油がない、石炭がないと云ひつゝ拱手傍觀して居るのでは、油の盡きた燈火の如く、刻一刻生命の光が消え行くのみである。酒の問題はこの見地から解決をつけなけ

ればならないと信ずる。

而して液體燃料として、酒の主成分たる酒精は、最も有要なるものである。今日では酒精が段々に石油に代用されつゝある、英國獨逸などでは之を工業的に使用し、キューバ島では砂糖の廢物より酒精を造り、之を燃料として自動車を走らせてゐる。石油も石炭もみな地下より掘り出すが、此の埋沒量は有限であり無盡藏ではない。翻つて酒精は無盡藏に出來る。酒精は地球上に植物の生えてゐる限り盡きない。植物の澱粉及び纖維から或ひは木材からでも、一切の植物が地上に生えてゐる限り、循環的にされるものである。石油がなくなつて、石炭がなくなつたとしてもその時には液體燃料として用ひられるものは、酒精の外にないこととなる。酒精は何千年も前から、ひとりでに醱酵してゐたもので、自然がその存在とその尊い使命とを教へてくれた。自然界に存するのは、石油石炭がなくなつたとしても、その後に全人類を支へてくれるなくてはならぬ尊い使命をもつてゐるのが酒精それ自身であります。この貴い職分のある酒精が吾等の日本にも昔から存在してゐる。之ほど簡單な製造はない、米でもなんでも澱粉質のものを水で煮て醱酵せしむれば自然に酒精になつてしまふ。酒精には液體燃料として石油の及ばない内燃機用としての特徴をも持つてゐる。更に石油の如く煤が出ない、石炭の如くに灰が溜らない、持ち運びは極めて簡單である。飛行機のエンジン、自動車の發動機にも却つてガソリンより優良な點を酒精はもつてゐる。石油のなくなるときに幾千年も前から之に代るために神は人類にその時の救ひの船を酒精の中に用意してくれて居たものと思はれる。

□

以上のやうに尊い役に立つものを、私共は貴い職分を知らずに、却つて之を自己を傷け社會國家を亡ほしつゝあるとはなんといふ一大矛盾でせう。斯る明白なる道理にもなほ耳を傾けずに、車を横に推しつゝ國家を滅亡に陷れることを喜び、自己の僅かな慾に勝てない國民は、苟も大和魂の滿てる日本國民の中には一人も居らないことを私は信ずる。酒は實に飲むべきものではなくて將來の國家を支へるための液體燃料に使用すべきものである。酒は斷じて飲むべきものではな

い。私は諸君にお勸めしたい、若し諸君が酒を飲みたいならば、その代りに石油を飲んで頂きたい、酒精は飲料でなくして燃料である。燃料を飲むならどうぞ石油を飲んで頂きたい――若し石油を飲むのがいやならばお酒を飲むことをやめて頂きたい。酒は飲むべきに非ずして全人類を救濟すべき尊い使命をもつてゐる燃料です（拍手）私共は酒の害を高調すると同時に、その尊い使命を發揮するために之を液體燃料にすることを更に攻究することを努めなければならない。酒精は今申上げたやうに植物さへ地上に存在してゐるなら製造し得るものである。澱粉からも木材の纖維の中からも出來る。木材から酒精を採ることは住宅問題に影響を及ぼしますから、此點を考慮せねばならぬ。又今日の如く米から酒を造ることも同樣に食糧問題に一大影響を與へるから、考へなければならぬとは勿論です。日本の木材から造るのも之は事です。他に方法を求めるなら科學的の方法に依るより外はありません。

近來科學が發達してアセチレンから酒精が合成されることが研究されるやうになりました。アセチレンは石灰と粗惡なる石炭と水力電氣があれば、容易にカーバイトが出來、そのカーバイトに水を作用せしむれば、アセチレン瓦斯が生じます。故に目下重要材料として考へられてゐる建築材料や食糧材料とは獨立に豊富な石灰と粗惡なる石炭を材料として酒精合成の研究を工業的にも成立し得る迄に完成せしむれば、大なる福音となるかと存じます。

禁酒運動の人々が弊害の點からのみ禁酒を力說してゐられるやうだが更に進んで、酒精の力に依り國家興亡に關する燃料問題までも解決し得ることになるならば、禁酒運動の意義を徹底し得たことになることゝ信じます。この際是非國民全體が覺醒して禁酒を斷行し、更に禍を轉じて液體燃料としての活用に依り茲に日本の國家の基礎をさだむべき幸福と爲して頂きたいものであります。

□

禁酒問題とは姉妹關係の煙草の問題も一言述べておき度いと存じます。煙草に二億圓を毎年日本國民は消費します。この煙草だけでも節約したなら、どれだけ日本の爲になるかも知れません。酒に燃料としての貴い使命があるやうに、煙

草にもその使命があります。煙草にはニコチンの害毒があります。このニコチンの害毒を煙にして吸ふから害毒があるのですが自然界の現象をみるときに、ニコチンでなければ持たない善良な使命があります。夫は煙草のニコチンは蟲が嫌ふので植物の害蟲を驅除する爲に用ひる。煙草の中には天然に蟲がわかない。その天與の使命をもつた煙草を煙にして、人間を蟲扱ひにするのは（笑聲）之程人間を辱しめたとはありますまい。何と自尊心のないとでせう。驅蟲劑として其使命を完うしなくてはならぬ、此ニコチンを煙と灰にして尊い使命をとり違へるのは之より愚かなとはあるまいと思ひます。

私は先月甲州に旅行致しました。御承知の如く日本一の葡萄の栽培の盛んな所で之を觀察したのです。處が此處に面白い話があります。彼處は昔――三百年ほどの昔に住んでゐたある百姓がお宮に參拜したところが石段の上に野生の葡萄がある。その人は之は珍らしいと拔きとつて持ち歸り、自分の庭先に植ゑたのです。すると翌年は立派な實を結びました。之を栽培して今日のやうに盛になりましたが、蟲がついていくら花が立派に咲いても蟲の爲に實がならない。ある人の話によると英國の事でありますが果物の樹に衛生に使用する石灰を偶然にふりかけた。よく見ると石灰をかけた處は果物がよく成熟し、かけなかつた處は蟲がついて能く出來なかつた、夫でこのことあつて以來、石灰を撒いた處には害蟲がつかない事が發見されて、果物が立派に熟するといふ道理が明かになつて、以後葡萄の害蟲は夫に依つて驅除し得るに至つたといふことです。日本でも石灰に硫酸銅の液を混じて噴霧器で蟲を驅除してゐます。この爲甲州では毎年百萬圓の收益を擧げて居ります。然しこの驅除法はまだ極めて幼稚なもので外國では煙草の中からニコチンを水に溶かし出し噴霧器でかけると蟲は完全に死にます。そして木にはなんの害もない、驅蟲劑としては最も良いといふ事になつた。故に煙草は人間が吸ふべきものではなくて實に害蟲を殺して植物を活かしめ人間のためになくてはならぬ果物や穀物を作らしめる爲のものであります。故に煙草を吸ふことは人間を蟲扱ひにすることですから、その誤りたる用法を寸刻も早く改めて、煙草が有する特別の使命を發揮するやうに國民諸君にお勧め申度いのであります。

日本政府の官吏は酒と煙草を禁止すれば大藏省への税金の收入が減じ、財源がなくなるといふので、却つてこれを奬勵して居る傾きがありますが、斯くの如く本末を誤つた方針は不合理極まつたものであります。酒や煙草の誤れる有害無益の用途を改良して、その獨特の使命を發揮せしむるならば、消極的には十五億圓の大金を節約し、積極的には液體燃料又は驅蟲劑として如何に莫大の收益があるか判りません。災を轉じて福となすとはこの一事であらうと信じます政府の猛省を煩し度いと存じます。

□

最後に一言、吾が國民に對して最も大切な問題を提唱しておきたいと思ひます。それは前述の理想の如く酒は燃料とし煙草は驅蟲劑として使用する時代が來て、日本に財力が增し富國になつたと假定し、如何に產業が進み科學が發達しても其處に潑剌たる生命の力が國民の精神の中に存せないならば、滋養物の大なるもの程早く腐る如く國民は富故に墮落する。此の一點を今から充分に吾々は考へて進まねばならないと思ふのであります。例へば牛乳は蛋白質に富み脂肪が多い、飲むと發育するが然し、器のなかに入れたまゝにして置きましたならば、滋養分の大なる牛乳ほど早く腐る、魚肉も同じである。だから吾等がお金を澤山溜める、發見を多くする事は、丁度鯛の刺身を作るやうなものであります。人の胃袋の中に盛られれば活力素となり、非常な尊いものとなるが、腐敗黴菌の存する處では却つて黴菌の養成所となつて、何の役にも立たぬは愚か却つて大なる害毒になるに至ります。故に國民の心に正氣が消えて道義心が地に墜つるならば、如何に燃料問題が解決され、よく國に百億の富が增しても吾等の精神生活の中に蛆蟲が湧いてゐては、ローマの如く滅亡してしまふべきを憂へざるを得ないのであります。正宗の名刀も大久保彥左衞門の手中に握られて始めて役に立ち、機關銃でも三十三吋の大砲でも、その砲手の手によつて始めて役に立ちその使命を完うし得るのであります。

吾等は國步艱難な多難多事の現代に處して、一方に國力を增進せしめ行くと同時に、他方に於ては、國民全體がその富力產業政治文物を達人の手にある名刀の如く十二分に使ひこなせるまでに、國民一人々々の精神を健實に向上發達せしめ、正義人道の大道を勇往邁進し得るだけに強い信念を養つて行かねばならぬと思ふのであります。

禁酒問題に國家的の重大な使命を感じ、一層努力をしたいと願つて居ります。

（第二回禁酒講習會に於ける講演）

社會正義

N・O・K

一

この間、國際勞働協會の東京支局の主任、淺利氏を其事務所に尋ねました。其時同氏は、私は神佛を信ずると云ふ信者ではないが、社會正義！これは私の宗教だと申されました。本日、米國の「婦人市民」誌を開いて居る時ふと目に止つたのはこの社會正義の文字です。そしてそこにこの方面に開拓者となつたフロレンスケレー女史の紹介がありました。今日我國でも、此方面の良心が少しく覺醒せんとして居る際、か丶る人物を紹介するのは無益であるまいと筆を執りました。

二

ケレー女史は、廿五ケ年間、全國購買組合の幹事として勤めました。最近この人の誕生祝ひの祝會が催されて、其座席に列した人々は、種々の評な女史に送りました。ニユトンベーカー氏は曰く「過去廿五ケ年間、女史は最も危險な人物で在つた。何となれば自己の語る所を悟決して居る人物で在つたから」又リ丶アンワルド氏は云ふ「彼女は明晰な頭腦と非凡な活力で朝食時にすら、當時代の人々に思考せしめた」と又ゼーンアダムス女史は立つて申しました。「ケレー女史は、輿論の燒き盡す如き力を、常に、社會道德を建設する力に變化さする有力なる指導者である」と。

これらの稱讃感嘆の辭の呈せらる丶間、女史は低く頭をたれて居ました。最後に、グレースアボツト女史が立つて「この人には一つも賞める處がない」とアケスケに云つた時、始めて其茶色の目から一條の輝が溢れて來ました。

「こんな立派な祝會が催されるなんて、思ひもかけぬ事だ」と女史に申しました。其眼は機敏な滑稽と愛と理智とで輝いて

居ます。當日は人々が思ひ〳〵に集りました。そして各々思ひ〳〵の祝辭を申しました。廿五年間、兒童保護、職業婦人擁護、黒人移住民の世話、婦人參政權を稱へ來つた大事な一市民と云つて會衆は皆女史をかこみました。

女史はクエカーの信者でウヰリアムペン時代の移住者の子孫です。其民族には社會正義を求むる血が代々流れて居ました。先祖には自身テーブルの一端に坐つて、隣りに白人の僕、次きに黒人の僕婢を一座に坐して食せしめた風變りの人もありました。女史の内には、社會正義と云ふ事は生れながら植ゑ付けられて居ました。

少女時代を省みて女史は申します。極く幼少の時の最初の思出には書棚から、古い書物を抽き出し、其中で自分よりも少さい子供等が英國の煉瓦工場で、頭に濡れた粘土を運ぶのを見た記憶があると申して居ます。この子供等は背を曲げて、殆んど人間とも思へぬ程痩せこけて居ました。私の祖母は、極く靜かに、父を責めて申しました。「そんなものを見せて子供の心を暗くするのは善くないぢやないか」と、私は父が人から稱められるのを聞いた事が有りませんでしたから、呼息もつまるやうな思ひで默つてきいて居ました。すると父は答へて「幸福に育つ子供等がかういふ憐れな、不幸な、子供の在る事を知らなければ、何時まで經つてもこれが革まる時代は在りませぬ」と申しました。

私の十二歳位の時でした。一日私は床から出てならぬと云はれました。そして朝食も床に運ばれて、今の内にしつかり寢ておけと云ひつかりました。其夜は、丁度夜中頃、起されました、そして着物を着換へさせ父は私を伴うて、大きなガラス製造場へ參りました。其處には未だガスも電氣もない時代で恐ろしい火が一方に盛に燃えて居ました。そして一方は眞暗でしたその火と暗の間を手足も半分出るやうな着物を着た子供が、あちこち燒けこげをして、靴も燒けたり切れたりしたのをひきずつて、大人でも疲て居る眞夜中の時刻に、疲れた顔をして働いて居ました。そしてこの子等が仕事のすんだあとの十二時間、誰れもしつかり世話して呉れる人もないと云ふ事をきかされました。

ケレー女史の父君は、ウヰリアムケレーと云つて、當時卅年間、費府選出の代議士でした。そして永い間、議會の

父」と呼ばれて居ました。女史は子供の時から、いつも父君の少さい相手でした。そして、後に非常に女史を助けた法律についての實地の知識を父君から學び得ました。女史は、極く早くコロネル大學に入學しこゝを終つてからユリックに行つて法律を研究しました。

明治廿五年に女史はゼーンアダムス女史のハルハウスに行き、こゝで兒童勞働の實地を調査する事が出來ました。此處で東北大學の法科を終り、州の大審院の辯護士となりました。其後女史はシカゴ市に於ける婦人の賃仕事貧民窟狀態等を研究し、イリノイ州の工場監督となりました。女史が、アダムス女史と共に大學に於て講演せし事が動機となつて、シカゴ市に於て始めて兒童の小公園が開かるゝに至りました。女史がアダムス女史の事業に從事して七年の後、當時初期であつた購買組合の主任、ブルーク氏が、女史を說いて購買組合の幹事と致しました。彼女はシカゴを去つて紐育に來り此の職につきました。

當時は、小供は、如何に幼少でも、如何なる危險な仕事にも從事する事を禁止されませんでした。又婦人も夜業であれ、徹夜であれ、如何なる仕事でもする事が出來ました。購買組合は如何なる狀況の下に品物が製造さるゝかを研究して、勞働者の生活情態、作業條件等を調べ、其向上を計ることを一つの目的としました。ケレー女史の大膽なる指導の下に組合は數ケの大都市と十六州とに其支部を置くに至りました。廿五ケ年間に四州を除く外凡べての州は、勞働時間に幾分の制限を附するに至りました。小供勞働は、多くの進步せる州に於ては多くの制限を見るに至りました。

三

以上の事業のみが女史の時を全部占領したと申す事は出來ませぬ。黑人問題が起つた時、女史は其保護會に入會しました。そして黑人の立場から根本的に又其問題を研究しました。又婦人參政權の長い戰ひの間、此の爲めに言論に於て、文筆に於て、絕えざる有力な働き人として盡しました。

女史の話は、事實から事實に、實證を以つて力說して、相手を納得せしめずにをかぬ力あるものでした。目下下院を通過して法律たらんとして居る、十八歲以下の兒童勞働法案は、女史の力預つて大なる事を認めねばなりません。

婦人參政權獲得期成同盟會に就て

宮川靜枝

一

數度の大會で、眞面目に議論を戰はせ、考へに、考へた末に、漸くのことで、日本婦人參政權協會といふものが出來上つたのは、大正十年七月のことでした。そも／＼の發端は、ガントレット恒子女史が、千九百廿一年瑞西ジエネバに開かれた萬國婦人參政權協會第八回大會に出席して、是非日本の女性もこの協會と國際的聯絡を保ちながら、日本婦人の政治的若しくは社會的自由のために起たなければならないといふことを痛切に感じ、まづ女史自らその會員の一人となつて歸朝されたことに始ります。

さうして、ガントレット女史は、久布白落實女史を日本のこの方面の指導者として、女史を通じて國際的氣脈を通じたいとお考へになつたやうでありますし、又他の多くの人々もさう思つたのでした。けれ共、久布白女史は、なか／＼その任に當ることを承諾されませんでした。此實に大きな仕事、それは婦人矯風會が目標として押し立てゝゐる世界の純潔、平和、禁酒、それらを凡て、この太いラインの中に織り込んでゐるかのやうに思はれる位意味深いものなのです。

けれ共、長い間の苦しい沈默を打ち開いて久布白女史が日本婦人參政權協會の代表者となることを承諾されました。それから後は、ガントレット、久布白兩夫人によつて萬國婦人參政權協會との聯絡は圓らかに續きました。さうして、大正十年夏の全國常置員會の席上で入會した三十二名を基礎會員として、日本婦人參政權協會が出來、それ以來、至つて緩漫ではありましたが、兎に角會員も出來、現在百數十名の會員を有するに至りました。とはいへ會の生命であり目的である婦人參政權要求の直接運動の方は、最近まで何等手をつけられずに居りました。

そのため、萬國本部の幹部、及びキャリー・チャプマン・キャト夫人からも度々會の働きに就て、又その運行に就て親切なお尋ねがあつたやうであります。又國内では、其はむしろ個人的とも申すべき幾つかの小さなグループが、日本婦人參政權協會の歩み出さうとするのと同じラインを、既に數歩の先に歩みを進めつゝあつた時、この協會が、組織はされ、而も世界で一番有力な、さうして幾十年の苦戰奮闘の光榮ある歴史をもつ萬國婦人參政權協會と聯絡するの先有權を保持し乍ら、いつ迄經つても、一向實際の仕事に取りかゝらないのを、むしろもどかしがつて、その態度を攻撃されたことも一再でありません。けれ共、指導者であり代表者である久布白夫人は、ぴつたりと自分の胸に來る迄は決して動く人でない、その大きな理由が發動機の大切なところにどつしりと轉つてゐた譯です。

けれ共時機は來ました。恰も、普通選擧權も今年こそはものになりさうに思はれてゐる第五十議會を眼前に控へて、ある夜久布白夫人の胸にひし／＼と來た靈感、それは終に久布白夫人をして固い信念を以て起たしむるに大きな力となりました。「なか／＼納得しない代りに、今度自分が斯うと信仰すればどうしても人を動かさないでは置かないのが久布白さんだ」といふ既に定評のある久布白夫人です。十月下旬のある日靈感に依て書き下ろされた二つの具體案は（十一月號本誌四二頁參照）十一月の理事會で説明し承認されて愈々ガントレツト夫人とお二人が、日本婦人參政權協會の代表者となつて協會員と全國常置員は固り、都下有力の婦人方新聞記者等約三百五十名に案内狀を出し、十一月十二日午後一時から五時迄といふ長い時間を捧げて大隈會館に、婦人參政權並に對議會運動懇談會を開催することになりました。

二

當日は約六十名の方々が出席されました。

久布白夫人が司會者として、夫人個人として何故に婦人參政の必要を唱へるに至つたかといふこと、又婦人矯風會が何故日本婦人參政權協會を設立するに至つたかといふことを述べ、更に、この第五十議會に普選も通過しようとしてゐる際、私共婦人の全然除外されてゐること、今は最早や實際問題で議論の餘地なきことを述べ、此際一般婦人が一致協力して婦

人參政權獲得のために盡すことが出來れば非常な幸であることを述べ、今議會に提出すべき具體案として前述の二つを提出されました。

久布白夫人の說明の後、有志の婦人方、高木、星島の二代議士の五分演說があり何れも婦人參政權の必要と其當然さは最早分り切つたことである、どうか實際問題として、小我を捨て大義に付て共に手を取つてやらなければならない、御一緖にやりませうといふのが其一致したところでした。愈々議事になつて、久布白夫人が議長になり、どういふ方法で實際運動をやるかといふことになり、結局「婦人參政權獲得といふ唯一つの共通目的の貫徹のために聯合委員會を組織すること」といふ動議を宮川が出し、滿場一致で可決し、その指名委員として任意有志の人々二十餘名が、閉會後別室に集まり、種種熟議をこらし、更らに翌日大久保の東京婦人ホームに相談會を開き、終に、指名委員會はやむを得ぬ成り行きとして、一つの創立委員會を組織するといふやうなことにまで進みました。從來あるところの既成團體の存在及びその仕事など、それら一切に觸れず、而もそれらの團體に屬してゐるところの人々も個人として、今度新らたに組織さるべき團體に加入することが出來るといふことにし、唯だ、婦人參政權獲得を只一つの共通目的として、一般婦人の個人としての自由な參加を求めることに話がまとまり、十一月十八日夜、東京婦人ホームに指名委員會のその後の報告會を開いて事の經過を說明し、今後の希望を述べて贊成を得ましたので、愈々當夜の贊成者及び十一月十三日大隈會館の集會に參會された方々からの贊否をとつて、贊成者を發起人として、婦人參政權獲得期成同盟會の創立總會を開くことになりました。

三

十二月十三日午後二時から四時半迄丸の內保險協會に創立大會を開く迄には特志の數名が集つて相談會を開いたのや、準備委員會を開いたことは、前後十數回にのぼります。それが、二十台から三十歲前後の主に一定の職業をもつて每日こつ〳〵と働いてゐる若い婦人達であつたといふことは、そこに何等かの深い意義を見る人は見たに違ひないのです。晝は仕事のために時間を割くことが出來ないため、夜六時からいつも婦人ホームに額をあつめて考へをめぐらしました。ホー

ムがあまり遠いといふので、終には赤坂の矯風會本部のあの寒いバラツクに、微かな火鉢の熱をとり乍ら遲く迄準備の仕事や、今後の運動方針や、仕事の手順や何やかやと協力しました。若い、而も元氣な連中です、大きな哄笑も交へ乍ら話が運ばれてゆきました。

創立總會、――東京を大體主として、三千の婦人方に案内狀を差出し大會前日迄の調べでは大抵二百人位は出席があるらしい見當でしたが、愈々當日出席されたのは新聞記者共に百三十五名でした。

當日の司會は金子茂氏、議長河崎夏子氏、書記吉永文子、宮川氏、規約の説明市川房枝氏、宣言及決議の説明久布白落實氏、

役員は指名委員に一任し、別記の如く決定。

第二部は階上で、ガントレット恒子夫人の司會で開かれました。大阪から出席された林歌子女史、河井道子、守屋東、三宅やす子氏等十數名の感話があり、いづれも感激に充ちたものでした。

會員たる以上、何れかの部に屬して働かねばならないのですから、何れも任意の部に屬しましたが、各部から各三名を中央委員として選ぶことになり、これも先きの指名委員會の選ぶところとなつて別記の如く決定。

總會當日は林歌子女史が大阪からわざ〳〵出席して大いに力を附け勵まして下さいました。次の關西婦人大會は必ずや婦人參政權要求の時機尚早論を打ち破つて私共關東の婦人と同じ歩みを取つて進まるゝであらうことを信じて疑ひませぬ。又當日、遙か福岡から「コクミンハンスウノシカバネニイノチヲフキコメ、ワダクニトミ」(國民半數の屍に生命を吹き込め、和田邦子夫人同愛媛富子女史)と激勵して下さつたのを始め、神戸からは城のぶ子女史、名古屋の奥澤とき子夫人からの祝電等は非常に活氣を添へたものでした。

翌日の都下の新聞はいづれも競つてこの總會の模樣を報告し、この新しく生れた婦人參政權獲得期成同盟會は誕生の其日からすでに早く世人の興味と注目の標となつたかの觀があります。

總會後も中央委員會は既に三回の相談會を開き、一月六日愈々新事務所を芝區琴平町二番地に置くことになりました。

專任の書記も既に定まりました。

それで、實際運動の方も、對議會運動に集中し、從つて一方宣傳部の方では、極力請願書の記名調印を集むることになりました。

さうして、宣傳部ではまづ第一に一月十七日夜大演説會を開いて輿論喚起の烽火をあげます。又、會員有志は地方の巡廻講演をすること、會員自らを養ふため月二、三回研究會を開くことなど定めました。財務部は會の運行を圓滑にする油の貯藏所です。この方も全會の働きを助けるため熱心に盡されて居り、議會運動部も既に實際の仕事に取りかゝつたのであります。

では、日本婦人參政權協會は一體どうなつたかと、かういふ問ひがあつたとこゝに假定します。それに對する答へはかうです。一體、婦人參政權獲得期成同盟會は、個人を會員とするものであつて、既成團體の組織などには一切タッチしない、觸れないのです。ですから、日本婦人參政權協會は、以前のやうに存在してゐますし、其仕事や運動に關しては以前のやうに自由です。然し、こゝに皆樣に御注意を願ひたいことは、十二月の矯風會本部理事會で、今年は久布白氏には婦人參政權獲得のために專心力を傾注して頂き例年の公娼全廢の運動は、廓清會に御願ひすることになり、矯風會からは、島田三郎先生の遺志を體得さるゝ信子夫人、松宮しん子、松浦千里のお三人を委員に擧げて、矯風會と廓清會の聯絡をとつて頂くことになりました。

婦人參政權獲得！　それは實に大きな、私共婦人の要求であります。思ふに、未だ多くの人々にとつては、それは裡に眠る大きな要求であるかも分らないのです。然し、婦人參政權は、たとひ、それが婦人問題の全部を解決してくれるものでない迄も、婦人問題の全般に亘つて自由の鍵を渡して呉れるものでありはしないでせうか。「個人の自由解放を求むるならば、全女性の社會的自由解放のために生命を投ぜよ」と私は終りに臨んで叫ぶ。

（一四・一・一二）

× × ×

大正十三年十二月十三日創立總會に於て決定

宣言書及規約

婦人參政權獲得期成同盟會

宣言書

一、我等は二千六百年來の因習を破り、男女共に天賦の義務權利に卽して新日本建設の責務を負ふ可き事を信ず。

一、明治初年より半世紀に亘り國民教育に於て已に男女の別なく又女子高等教育の門戸も開かれつゝある今日、普通選擧の實施に當り女子を除外するは不當のことゝ云はざるを得ず、我等は之を要求す。

一、我國の職業婦人は已に四百萬に達せり、其利益擁護のために參政權を要求するは當然のことゝ信ず。

一、我國大多數の家庭婦人は其生活完成のため、法律上國家の一員たるべく之を要求す。

一、市町村に於ける公民たり又國家の公民たる資格を求めて我等は參政權を必要とす。

一、以上は宗教の異同、職業の差異、有ゆる異同を除き唯女性の名に於て一致し得る問題なるが故に、こゝに大同團結を作り婦人參政權獲得運動をなす必要と其可能性とを信ず。

依つて左の決議をなす。

決議一

我等は市町村に於ける公民權を獲得せんがために、來る第五十議會に提出されんとする市町村制改正法律案中に婦人を男子と同樣に含むことを要求す。

決議二

我等は國家の半身たる存在と義務とを全うせんがために、來る第五十議會に提出せられんとする選擧法改正法律案中に婦人を男子と同樣に含むことを要求す。

決議三

我等は政事的結社の自由を獲得せんがために、治安警察法第五條第一項中より「五 女子」の三字を削除せんことを要求す。

規約

第一條　本會は婦人參政權獲得期成同盟會と稱し、事務所を當分の内、東京市芝區琴平町二番地に置く。

第二條　本會は、婦人參政權の獲得を以てその目的とす。

第三條　本會は、政黨政派に對して、絕對的中立の立場を保つ。

第四條　本會は、本會の目的に贊同するすべての婦人を以て組織せらる。本會員は入會の際、會費圓を據出し、第五條にかゝげたる何れかの部に屬するものとす。

第五條　本會は第二條の目的を達するために左の各部を置く。

一、議會運動部（議會に對しての直接運動）

一、宣傳部（講演會の開催、パンフレットの出版等）

一、財務部（資金募集）

第六條　第五條に掲げたる各部は互選されたる三名宛の幹事によつて統括せらる。

第七條　本會に左の役員を置く。

一、理事　三名（總務理事一名、會務理事一名、會計理事一名）

一、中央委員　九名

第八條　總務理事は本會を代表し本會の連絡統一をはかると同時に、大會並中央委員會の議長となる。會務理事は本會の一般會務を處理す。會計理事は本會の金錢出納に關する一切の事務を處理す。

第九條　理事は總會に於て會員中より選擧しその任期は一ケ年とす。

第十條　中央委員は第六條にかゝげたる幹事之に任じその任期は一ケ年とす。

第十一條　理事及中央委員は中央委員會を組織し本會に關する會務の協議決定及執行をなす。

第十二條　本會の經費は入會金及寄附金を以て之を支辨す

第十三條　總會は毎年一回四月これを開く。

第十四條　本規約は大會に於ける出席會員三分の二以上の同意あるにあらざれば之を變更するを得ず。

婦人參政權獲得期成同盟會

事務所　東京市芝區琴平町二番地

總務理事　久布白落實
會計理事　中澤美代
會務理事　市川房枝
中央委員（議會運動部）河崎夏子
中央委員（議會運動部）阪本眞琴
中央委員（議會運動部）山内輝子
中央委員（宣傳部）金子茂
中央委員（宣傳部）宮川靜枝
中央委員（宣傳部）吉永文子
中央委員（財務部）ガントレット恒子
中央委員（財務部）荻野好子
中央委員（財務部）田中芳子

このごろ

守屋東

一

最近の新聞で知つた事は、今年の正月以來、殺人強盜が非常に多い、而も其犯人が二十歳以下のものだといふので、警視廳では未成年者の飲酒取締を嚴重にして、飲酒店、バーといふやうな處へ角袖を遣つて充二分に取締をする事になつた。と、いふ記事、未成年者、その人が酒の上から恐ろしい罪を犯すは決して此正月になつてのみの產物ではない。今迄もあつた事である。それが今度特に斯うして取り締りを嚴重にする程注意されるやうになつた事は結構である。どうか一時だけでなくつゞけてやつて頂きたい。尙ほ我國の如く既に國法として禁酒令が未成年者にはしかれてあるのだから一層學校其他に於ても國民として國法に從ふといふ大きな敎へからも此法が實行されるやうに盡力して欲しい。おゝそんな法律があつたか」といふやうな事でなく、其法律が生じ、其法律で愛する子女が守らるゝやうに骨折るべきである。今度の小學校相手としての禁酒運動にも國法として印刷し、寄贈して居る。生きた敎材が多數ある禁酒問題が、實際どういふ風に取り扱はれて居るかといふ事を敎育界でも研究して欲しいものであるどうも、學校で國の法律にまでなつて酒が禁じられてある事を重んじて居らないやうに聞く、實に心外な事である。

二

禁酒敎育運動も漸々進步して第一回の發送を一月廿日にする事になつた。バラックの事務所に山のやうに積まれた、其寄贈すべき品々を見ると胸が一杯になり感謝にあふれる、一つ〳〵とすれば小さい、些少の贈物である。然し其中に籠る眞情と熱情とは、此愛する日本を酒より救ひ出さではおかないといふ意氣である、懇願である、烈しい苦しい痛みと叫びである、これがどう取扱はるゝかといふ不安である、そして

信頼である。何が何でも此寄贈物に對しては生命がなければならないといふ思である。遂に我心は祈らないでは居られぬ。それで一月廿日の午前十時に同勞者を初め理事の人々も來て頂いて發送祈禱會を開く事にした。五十錢一枚分引き受けて下さつた方々には勿論其由を通信して祈つて頂く事にした。何人來て下さるか知らないが、同勞者は心も身も清めて集り今日まで何回か手を通して發送までの手續が出來、今自分等の手から、次の手に移らうとする時、強い〳〵信仰の下に全き目的を貫徹するやうに祈る事である。昔の武士が戰場に出て五分間の決勝聞きはといふ氣さへする。只印刷したものを紙筒に入れて送る丈とはちがつて記名し、學校名をしるして對照しながら送り出すまでの苦勞は、此祈心を強く〳〵起さしむるに至つた尊い勞作であつた。第二回、第三回、終りまで斯うして進む、どうか愛する姉妹、ともに祈つて此働を全あらしめて下さい。

三

五十錢運動二萬五千の小學校を標としての此運動は非常に人々の心を動かした。また此運動が只一年限のものでなく、向ふ十ヶ年計畫のものであるといふ事が力であつた。十二月初めから始めて十二月の末までに、一萬校に達した。引受けて下さつた數である、一萬校といふのは口には安いが容易ではない。此中お二人千圓づつ十年間引き受けて後援すると約された。一人は青木庄藏氏、一人は石川武美氏である、どの位同勞者を勵まし力づけた事かしれない。勞れた時でも此方の同情を思ふと笑まれる。そしていそ〳〵と仕事がすゝむ大きい事である。中には貧者の一燈ですと勞働者の一人から振替に入つて來た時は生命があるやうな氣がして皆無言に泣いた。小さい子供からの贈物や、やさしい人々の配慮から一つ〳〵袋に入れられた金を百人分五十人分と開く時は其人の姿や顔まで想像されるやうに胸がとゞろく、一つとして感謝ならぬものはない、心から謝して帳簿につけ込む、受取を出して居る。一萬校引受を終へたとき不幸にして事務の手ちがひを生じたも三件あつた。其責任者は申譯ないと苦しんだ。どうかゆるして頂きたい、こゝでも改めて其三人の方におわびします。

四

少年新報は震災後三種郵便物が不認可になつたので、一枚送るにも二錢を要し誠に困難して居る。度々其筋へ願つて手續をとつて居るがまだ出來ない。幸にも皆樣が此小さい新報を喜んでうけ入れて下さる事を有難いと思ふ、私は此新報を書く事が樂しみである。書く事の不得手な私でも此新報だけは喜んで初めから終りまで一氣に書いてしまふ、今新報は毎月少し餘分に印刷して居る。五枚位なら半年位御寄附申してもよい樣にしてある、御記憶下さつて御利用下さい、日曜學校や、また小學校など、また母の會などで讀んで頂いてもお役にたつと信じて居る。千圓の保證金を納めた新報である。一人前の記事は何でも書けるのである。どうかほんとに有用にと念願して居る。私は日本の國民として、特に禁酒運動をするものとして、皇太子殿下の御禁酒であらせられる事は、何とも申樣ない感喜である、畏れ多い事ながら御母宮でいらつしやる皇后陛下の御滿足はどんなであらうと推し奉る、上下の別は母性愛にあらうはずはない、女として眞心からこのうれしい御同情を表し奉る、それにしても一般の母が、其子を酒なき身として成長させるやうつくさなければならない。よき模範をもつ我國の幸な一人にも多く知らせて學ばする事はお互の大きなつとめである。

五

全國にある禁酒會に此度の禁酒運動を告げて、後援を仰いだ。勿論數は問題ではない、斯うした運動に對して後に各後援者と寄附學校とを對照して一覽表を作るとき、矯風會や禁酒會の名の少ない事は、親類から結婚式に人が來ないやうな氣がして、氣が引ける。そこでお願をした、丁度親の家から小包が來るやうに、各地の禁酒會から一枚引きうけた、一角分持つてやると、御返事が來る。其時のうれしさ、中には入れてあけた袋にわざ／＼替爲五十錢をさしはさんで送つて下さる、其お手數と心情とを、たまらなくうれしく思ふ、一角分も引きうけて下さつた上に手紙をつけて、もつとしたいがこちらでも運動してゐる、少ないと思はないでこれで許して欲しいなどと書いてある。許す許さぬどころではない、飛び上つて掛りのものは押し頂いてゐるのである。何しても親兄弟はいゝものである。中には、私の方は大阪の方を六百引き受けた。今其運動で大活動をして居る。あなたの方は此度は

堪忍して欲しいと、親しいありのまゝの手紙なども来る、「結構〳〵日本國中此種の印刷物でうめなければならない――」とニコ〳〵する。

一月早々本部の理事會が婦人ホームで開かれた。こゝは私の家だ、病氣でも我家なら押しても出られる、出た、病人といふので書記も築山姉に依頼してのどかに連なつて居た。が、一つ禁酒運動の報告の時だけは病人をやめて、去年からの鹽から聲を張り上げて報告した。最後に、どうか此運動に對してぜひ理事の方は一角分づつ持つて頂きたい、お願すると駄つた理事方も大變である。いつも理事會毎に何か出金しなければならぬ事があるので、どうしようかとも考へたが、然しこれは御遠慮申すべきでない、ぜひとも理事として先づ第一に出金を願ふべき事だと信じたのでせがんだ、幸列席された十一人の理事及び畑氏は一角分づつを承知して下さつた。一角分即ち二十五枚宛、十二圓五十錢である。私も理事の一人として勿論うや〳〵しく記名した。理事會は婦人矯風會の中心役員である。此理事會は重い責任があると共に、光榮ある名譽職である。日本全國六千人の會員から信頼され期待されて此三十有餘年の歴史ある我日本婦人矯風會を代表幹部である。此幹部が動いて出資された事は實に我少年禁酒軍としては萬々歳である。

六

よく寝正月と人は云ふが、私は寝はしないが暮から聲を失うて、聲なし正月を迎へた。無いとも云へない出る事は出るが、その聲は全く矢島先生に命名された鹽から聲である。八調のドさへ滿足に出ない、不愉快な聲だ。それでも子供等は私が家に居るので安心したやうな顔をして居る、親と思へば鹽辛聲でもさしつかへないらしい、正月の元旦は矢島先生のお室に皆集まつた。家族は(他に出たものもあつた)讃美祈禱して所感を述べつゞいて君が代を二唱した。主の祈を以て閉ぢた、昨日と變らぬ朝日ながら心地よく元旦を祈の中に迎へた。先生に喜んで一人々々に串柿を一つづつ下さつた、「齒は大事よく齒がためをして丈夫に――」と仰つしやつた。此日集まつた人數の年を寄せて見たら千二百三十五歳になつた、平均年齢が二十四歳、九十三の先生もならして見ればまだ若い娘だと皆で笑つた、申の年が一番多くて十人まであつた、やさしいのでキリスト様にも例話に用ひられた羊は只一人ぎりだつた。十二支皆あつた、申が一番いたずらものなのかしらと

いつて笑つた中の年のものは苦笑した。今年は例年の例を破つて元旦お雑煮二日からは普通とした、日本全國の人が一人宛八十圓からの外債を負うて居て雑煮でもないといふ處から倹約といふ事で斯うなつた。でも娘等は人うらやみもせず二日からせつ〳〵と働いた。今年の標語は、「主は今もなほ働き給ふ」である。働く、これが今年の目標である。
今ホームは五軒、玄關を事務所と呼んで居る、玄關の建物の名は聖書館其の由來は石塚卯吉氏がこの家で玄關子を勤めつゝ新舊約全巻を一枚の紙に認め了つたので此名を命名し、日本の聖書に關する歴史に残すべき記念の建物とした。次が慈愛館、二十歳以上の婦人等のホームである。こゝには赤坊も三人居る。過去に於ける慈愛館そのまゝの事業を婦人ホームが委任されてつゞけて居るのである。梅香寮これは治療所である。其家の廣い處で夜學をして居つたが、今度からこゝには職業婦人の為簡單な寄宿にする事にした。次が新生寮、一番初め私が住まつた南京蟲で名高い建物だつた。全く根絶した、新たに生れずば神の國に入る事能はずといふ聖句から命名した。審判所から委託された娘等が主である。廣い畑を越して矢島寮がある。こゝには此ホームの事業を理解し援助する學生及働人の宿舎にして居る。そしてホームの中心建物として禮拜堂になつて居る。矢島先生が本部が震災の爲に焼失したので、バラックにお住ひ願ふよりとお願申して、婦人ホームは此建物にお住を願つて居る。婦人ホームに此日本の恩人婦人矯風會の創立者矢島先生をお迎へしてお住ひ頂くといふのは何といふ光榮であらう、皆地震の賜である今後本部會館が新築されて若し先生を前の通り其方へお移り願はなければならない事になつたら、私共婦人ホームの者はどんなに寂しい事だらう、寂しいのみではない錨を失うた船のやうになりはしないだらうか。
矢島寮と上下になつて清心寮がある、一番小さい娘達の家である。斯うした家々の生活はほんとに切りつめてやつて居る。それでも各々家が二百圓餘を費やす、事務の方は全く別になつて居る。子供等は一生懸命働く、然し働いてもなかなか容易ではない。が、此仕事を始める時、信仰によつて必ず與へらるゝ。若し與へらるゝ事なき時は、其時潔よく此事業はお返しすべきものであると確信して來た。今日まで一度もお返しすべきときに遇はぬ只慈愛館をお引受けして此大きい地内に移り都合の悪い間どりの建物を使用し家を別々にして暮してゆくとき全く新坂町のチンマリした家に暮した時とちがつて何もかも心くばりに力がつきた。地主の役、主人役、町

内の交際さてはなにと私には過ぎた仕事だつたがしなければならぬ仕事であつた。幸今日では大きな神の御恵の下に建物悉く火を燃しそこに働をつゞけてゆく事が出來るやうになつた感謝の至りである。こゝまでに至る牧師達の苦心、夜も晝も不堪心やすまらぬ間にあつて常に勞を共にした若い姉妹等に對し私は身をなげだして、助け合ふといふ眞實を持たずにをられない、四年前千七百餘坪の此全部をうちまかされた時の事を考へて、此正月元旦一人すみからすみまで歩き廻つて部屋に歸つたとき、天の助けと同勞者の涙ながらの苦を感謝した。

七

日曜日の夜は家族禮拜として守つて來て居る、この禮拜はホームの中心になる、こゝで神の御聲をきゝつゝ學ぶのである。いつも六十人近くのものが集まる、正月から二度の禮拜私は聲なしの爲、他からお話する方を願つた。第一日曜日は本所被服廠跡に出來て居る宿泊所に住まれる平井助三郎氏、第二日曜日は本所富川町の働く者の家の松下氏であつた。平井氏は禁酒主義の勞働者、松下氏は震災後存じ上げた一燈園の方、平井氏は勞働者で松下氏は――自由勞働者の宿舍の世話をする方、此二人の方から話された處は全く理窟でなく事實話であつた。そして此不景氣が生む失業苦、失業難についてであつた、平井氏などは毎朝五時に職業紹介所にゆき其日の職を定める。處が五百人位おしあひへしあひして行く者の中三百人位より職にありつけずあとは、あふれて歸るのだといふ、さうした人は一錢の貯へもない、一日食事も出來ず、無料宿泊處でゴロ〳〵寢たり起きたりして居る、ひもじさに堪へかねて配給品のうどんをうでて食べる、醤油を買ふ金もないのでそこにある鹽で味をつける、などといふ話であつた。松下氏のも此正月以來、一日三度といふ食事をした人は家に一人もない、富川町丈にさういふ職のない爲に食をする事の出來ない勞働者が二千人も居ると話された。子供等は感じたらしい、斯うして三度不自由なく食する事を感謝して居る、小さい清心寮の子供等は相談しておやつをやめ、食事をつゝしんだ。其爲一日に一升米がちがふやうになつたと牧師は話した、何というても理窟ではない。眞實の物語ほど大きい教へはない、導きはない、子供等が自發的にさうした事を云ひ合ふ迄になつてくれた事がうれしい、神の國は學者やパリサイの人にはわからないとキリストが申された言葉を憶れを以て今私は考へる。世話して居ると思うた子供、娘等に眞實の道が反つて教へらるゝではないか？（一四、一、一五）

時評

□誠意如何ほどなりや

一月十二日に、今度出來た婦人參政權獲得期成同盟會を代表して、對議會運動の委員、久布白落實、坂本眞琴、山内輝子、荻野芳子氏其他が、運動の第一着手として、首相、内相、政友會、憲政會、政友本黨の各本部、犬養氏を訪問された結果、大體、首相秘書は、今議會に、婦人の公民權の方は政府案としてある程度迄考慮し、提出することになつてゐるといふことを言はれ、内相秘書も同樣の事を言はれたといふことである。又、政友會、及び憲政會の方では、婦人參政權獲得期成同盟會の

決議一

我等は市町村に於ける公民權を獲得せんがために、來る第五十議會に提出されんとする市町村制改正法律案中に婦人を男子と同樣に含むことを要求す。

決議三

我等は政事的結社の自由を獲得せんがために、治安警察法第五條第一項中より「五 女子」の二字を削除せんことを要求す。

の二つは充分盡力を致し度い考へであると言はれたといふことである。

勿論考へ方によつては、なまぬるい返答であり、政治家流に可なりぼやけた返答でもある。けれ共、これも、目的を遂する迄のプロセスと見なければならない。さうして、同時に、我々が國家の政治に、又市町村の政治に、婦人參與の權利を得るために一層の努力と一致協力の精神が必要である。ある程度迄は枉的であれ、或は又、肉迫する頑强さをも欲しいものである。

女性は平和を愛し優雅を愛するが、然し、必要なるやむを得ぬ場合には、彼女は平和を犧牲とし、又所謂傳統的な優雅の幻影を民衆の眼前に打ち破つて驚嘆させたこともあるといふことを、私共は殊にあの英國婦人參政權獲得の歷史の隅々に見出し得るであらう。

□再び聽く機會均等の叫び

過般來、都下諸大學の女子聽講生諸姉によつて、女子の高等教育に於ける機會均等といふことが叫ばれ、のみならず、

實際、當局者を訪問して衷心の要求を訴へ、又彼女達が八方から投げつけられる彌次にもめげず、演壇上に起つて輿論に訴へたことは、少なからず人々の心を動かしたことと思ふ。實際健氣にもよく叫んで呉れたといふ、ある涙を誘ふ氣持ちさへして私はあの叫びを聽いた。現在東京丈けで、大學の女子聽講生は五百人程あるといふことである。而もある大學では、入學試驗も、論文を書くことも男學生と同樣である。「それ故、男子と同等の力があるものならば男學生と同樣に卒業證書も欲しい、同等に認めて欲しい」といふこともあるらしい。

尤も、男子が、一片の卒業證書を得るために、興味も持たぬ學科な一生の半ば以上も費して、只、生活の方便のために大學に席を置かなければならないといふやうな、有難くない現在の社會組織は呪ふべきものである。

が、今、私は社會組織のことを云はうとしてゐるのではない。ところで、折角女子を聽講生として迎へたならば、當局の人々よ、女學生を男學生と同樣に待遇したらよいではないか。知識の開拓によつて文化の泉を掬まう、それによつて自分も欣び、社會をも何程かにうるほすことが出來ようではないか。

五十年ばかりも前の話だつたが、米國で各大學が申し合せたやうに女子の前にぴしやりと門戸を閉ざして顧なかつた時、一人或は二人の實力ある勇敢な知的女性がまづその門戸をたゝき、どれ程の精神的苦鬪を忍んだか、而も喜び勇んで! アンナ、ハワード、ショウの如きもその一人の女性であつた。

我國では、幸ひに大學の門戸丈けは極めて小心にではあるが、兎に角開かれてゐる、然し、女子の聽講生は、さながらお客樣扱ひ、他家のお孃樣扱ひだと言ひたい。尤も、公平に考へて見て、女子聽講生がどの程度の知的慾求に燃えて、自ら研究し得るか、又一面には、どの程度に眞劍に自分の生活といふものを考へてゐるかといふことが、彼等の要求し叫んでゐるものの解決を、より早くする有力な鍵となるものである。

と同時に、學校當局が、或は文部當局が、女子に男學生と同樣の待遇を與へ、認めることによつて、女子學生をより高いレベルに迄導く有力な原因となるであらうといふことをも考へねばならない。

兎に角この重大な學問の自由、研究の自由を婦人が得なければならないことは、婦人參政權獲得の要求と同樣に重要である、或はこの方が本質的にもつと重要であるとさへ私には思はれる。

世の識者、或は女子の高等教育振興に盡力しつゝある團體に望む、希くば若き日本の女性の叫びに耳傾け、彼等の要求を我が要求として共に力を盡し指導されむことを!

（エス・エス・）

海外

□終にスペイン婦人も

なぜだかラテイン系の國々では、ベルギーを除くほかは、なか／＼婦人參政權は認められませんでした。ところが、今度スペインでは、廿三歳以上の獨立したる婦人、寡婦、及び女戶主に公民權が認められました。今のスペインの宰相は、自ら女權論者であると言つて居る程ださうです。婦人公民權の獲得によつて、婦人參政運動は一層活氣附けられた形であります。

尚ほ、婦人公民權が認められた結果、最近三名の婦人が、マドリッド市會議員に擧げられ、三名共何れも重要な職に就いたことが同國の新聞によつて報導されてゐます。

□ドイツの婦人と職業

多くの職業が極く最近迄婦人の前に閉ざされたまゝでありましたけれ共、現在では、醫師、技師、敎育家といふやうな知的訓練と學術的研究を經た人々が多く出るやうになりました。現在、十二大學に廿人の婦人の敎授があり、醫師として二千人の婦人があります。婦人にも醫學の研究が許されるやうにと議會に請願書を提出して世人の嘲笑と冷罵を浴びせかけられたのは僅か卅年前のことである――。その他種々な方面の重要なる職業が、次第に、着實に婦人の手に握られてゆきつゝあります。

□英國婦人の要求

英國婦人は參政權を得てゐます。けれ共、男子は廿五歳なのに、婦人は卅歳でなければなりません。それで、最近再び總理大臣に、男女の年齡を同じ廿五歳以上にするやうにと要求して、同國内の婦人參政權協會では、男子と不同の參政權を以つては次の總選擧をむかへたくないと言つて、全國を通じて、熱心に輿論喚起の運動をしつゝあります。

英國では、今年度八名の婦人が市長に任命されたさうであります。

（エス・エム・）

フランセス・ウヰラード女史を想ふ

ガントレット恒子

年毎に二月と云ふ、我會の創立者、フランセス・ウヰラード女史の昇天の月は、めぐつて來ます。而して其度毎に女史に對しての我々の意欲と愛慕の念は深くなつて來ます。

幾度繰返しても何時も新しい樣に感ずる女史に就ての樣々なエピソードは、私共に興味深く味はれますが、本年は彼の偉大な人物を生み出したホーム、只ならぬホームを考へて見るのも有益な且つ興味深い事と考へて、ウヰラード家が、オブリンに住つた時にも隣に住み、ウヰスコンシンに移り住んでからも近くに住んだと云はるゝ、マリヤ・グデル・フロスト夫人の言語を借りて次に書き連ねて見ませう。

「私が初めてウヰスコンシンのウヰラード家に客となつて數週間を其家庭の人と共に送つた時、美しい家庭、樂しい家庭、清い家庭の感化の大きな事を感ぜずに居られなかつた。ウヰラード氏の家庭こそ模範的家庭と云はねばならない。本當に凡てが單純で質素であるが其中に、何とも形容の言葉を見出し得ない樣な、優雅な處がある。此處には家庭の美を損ふ何物をも見出し得ない、何と云ふ幸福な家庭だらう、私には未だ此の點を斯う改良したら、どうだらうと思ふ點を一つも考へ付かない、夫妻御互の教育、子女の教育が愉快に而かも秩序的に續けられて居る。年長者も幼いものも皆學び、進歩しようと努める爲進歩しつゝあるのだ、美しい可愛らしい、「若木」は、兩親と云ふ植木師に親切に、忠實に培ひ育てられて居る。兩親は體は二人でも、心も望みも一つである。此家族は「責任第一」を標語として居るから、家庭の凡てがなだらかに動く、子供等は兩親に絶對の信頼を有つてをるから能く其支配に滿足して居る、此家庭の政事は專制的ではなく

何處までも共和政事だもの、子供に對しては兩親は公平だ、けれども、年と性格と場合に由つては自由に區別をたてる。母親の意志は父親の其の如く、尊重せられる。尊い魂には男女の區別はない。

「秩序は天の法則である」と此家庭は秩序を守る事に努力する。家の内外共に凡てが順序よくまとめられて行く。實に〳〵愉快な家だ。若し完全な家庭が地上にあり得るならば、此家庭は其一つに違ひない。然し、此樂しい家庭も矢張り終には朽ち果つべきもの、破れる時の來る地上の家庭と思ふと、云ふに云はれぬ、はかなさを感ずる。

一致融合して居る家族の者が、又一人々々は其人格をはつきりと現し且つ御互に其個性を尊重し重要視して居る。

彼のフランセスと、メリーの姉妹が一つの部屋に住つて居り、遊ぶ時には本も、お玩具も、一つにして仲好く遊んで居るけれども、其所有權は各々が認めて居る。此の蓋はメリーが、お父様に頂いたの」「此の球は、フランセスのよ」と主張する處に所有權が判きり分たれて居る。

母親は子供達の、遊戯に一々注意を拂つて、決して、之はさせてもいゝかしらと考へなければならぬ様な事はさせない二人の姉妹は全く性格が異つて居る。姉のフランセスと妹のメリーは、マルタと、マリヤの様だ、御客様があれば、急いで、メリーは、御客様の連れて來た赤ん坊を引取つて、おもりをする。フランセスは、御客のお相手として、面白くおしやべりをする。勿論人間の作つて居る家庭だから、過失や、思ひ違ひのない事はなく、泣く事もあれば、とがめる事も起るけれども、其は夕立雨の様なもので直ぐ晴れて天氣は前よりも美しくなる。つまり、此家族の者は、キリストが罪人を待らひ給ひし様に、おたがひの罪に對し、寛大であらうと努めて居るからではないだらうか」

□

ウキスコンシンのウキラード家に客となつた（ウキラード家は客をもてなす事を非常に喜び、其が又、キリストの弟子としては爲すべき事と思つて居た様だ）學者であり熱心な社會事業家であつた、フキットマン氏夫妻は、其當時から、四十年を經た一日、ジョルジヤ郡の或市で、矯風會（フキットマン夫人を會長とする）の主催で、ウキラード夫人の記念會が

擧げられた席上で、四十年前の、ウヰスラード家の有樣を追憶して斯う云つて居ります。

「ウヰスラード家は、オブリンの樂しい家を去つて、其當時は新開地であつた淋しいウヰスコンシンの家へ移つて行つた。此家は淋しいが、又實に美しい景色の位置に建てられてあつた。家は廣い高原のダラ〳〵坂の一隅にあつて、後にはコンモリとした森を脊負ひ、前にはロック河を抱いて居た。勿論こんな新開地に學校のあらう筈はないが、ウヰスラード家の子供等は斷えず、學んで居た。賢い敎育のある、否敎育家である兩親を有つ事は、一番好い學校である。

年が長じてからは、本より男の子も女の子も中學や大學へ行つて勉强した。然し私は彼の子供等の知識慾では、よし一日も大學へ這入らないでも、確に學者になつたに違ひないと信ずる。

今日ウヰスラード夫人の葬られて居る場所からは、立派な建物と數百萬圓の基本金を有つ大學が見えて居る。然し本當に人格を作る處は、大學ではない、立派な建物では勿論ない、幾百萬の基本金も何の價値もない、若し家庭が其最初の基礎敎育、人格敎育を怠るならば。

私は敢て云ふ、フランセス・ウヰラードを作り出した處は彼女の學んだ大學ではない。彼の女が十四歲であつた年に、私共夫婦が泊つて、直接見た彼の美しい淸い、眞實な、ウヰスコンシンに在つた家庭である。フランセスを作つた者は其父親、其母親の協力である。彼等自身の人格である。彼等の淸敎徒的生活である。」

□

ウヰラード女史がエバンストンに移住して幾年かの後に、再び、ウヰスコンシンの「森の家」を訪ねた時の所感は左の如くである。

アヽ此處か「森の家！」私は此處へ來てから數日間、毎日の樣に此家のまはりを、さまよひ人の樣に步いて見た。

私の眼は現在の家と其周圍の景色を見て居るけれど、心の眼は全くありし過去の家を夢見て居る。オヽ此庭の小徑、懷しい小徑、メリーと兄さんと三人で廣小路、母の町、小町などと、色々な名を付けた、此處の隅には、ありし日其まゝに

イーグルスネスト（女史が昇つて行つては、讀書した高い木の枝が殘つて居る。私が下手な子供の手跡で、板に書いて、打ち付けた名が、雨ざらしになつてかゝつて居る、何んてなつかしいのだらう。彼の枝まで昇るのは隨分あぶない仕事だつた、今は尚更あぶない、もう私は大人だもの彼の枝の間に樂々と坐つて、好きな本を讀んだり、書き度いものを書いたり將來に對して大きな理想を畫いたりしたのは、もう昔の事になつた。古きは去つて新しきは急いで來る。

彼の林この樹の下には幾匹かの、猫や犬や鳥が葬つてあるのだ、兄妹三人で、何度お葬式をやつたらう、箱で棺を作つたり、黒い布を被つたり喪章を附けたり、葬式の讚美歌を唱つたり、追悼の詩を朗讀したりした。式を終つて美しい野の花や、庭木の花を墓の上にまいて、其上に、墓標を立てゝ「可憐な忠犬」「我等は汝を熱望せり、今汝は永久に眠る」などと碑文を書いたりして眞面目に遊んだ事もあつた。墓標は捨てられ、花は枯れ葉の位置さへわからない今も私の記憶の中には判然とあの光景は殘つて居る。

特別私の可愛がつた小猫が居なくなつた時、私共は名の判らない木を植ゑて、小猫を記念する爲に、「猫の木」と命名した。コンナ奇妙な名を付けられても、彼の木は、メキ／＼と成長して私共を笑ばした。然し、今は彼の木の影さへ見えなくなつた。

樂しい追憶！　神の賜物の内の尊いものである。

神樣よ私はあなたの此の樂しい、嬉しい記憶を私に與へて下さつた事を深く感謝します。私にはとても此「森の家」と其家につながる樣々の經驗を決して忘れる事は出來ません。そして其忘れ得ぬ記憶に向つて感謝します。私は世界の何處へ行つても此の「森の家」ほど、懷しい處を見出し得ないと信じます。

此の無邪氣な追憶にふけつた文を書いた時、ウオラード女史は二十歳であつたと云はれて居ります。

何と云ふ自由な、愉快な生活でせう、廣い、美しい、何の拘束もない、自然其まゝの周圍にかこまれて、子供と共に、子供の爲に、活きた兩親、自らを教育し、自らを研き、進めて、子供の成長、發達を助けた兩親があつたからこそ、彼の偉大な人格が築き上げられたのです。

賢きミス・ウキラード、強き大膽なる女史、秩序的に世界を相手の大團體を作り上げた女史、理解のない民衆に狂人よ夢見る者よと嘲けられつゝも、大なる、ビジョンに活きて今日の禁酒國を實現せし女史の背後には、偉大なる父と、母のあつた事を認めぬ譯には行きますまい。

私共は今日、婦風會として、清いホーム、善良なるホームの建設に盡して居るのであるとすれば、幾多のミスウキラードが其内から幾年かの後、或は幾十年かの後に現はるゝ事を望み且つ信じて進む事が、ウキラード女史を記念する、最良のたむけ草だと信じます。

家庭は、社會の延長である、社會に出でて働く婦人は、家庭より社會により良きものを與へ、社會より、より強きもの廣きものを家庭に運び行くためであつて、社會にあつて家庭を忘れ、家庭に在つて、社會を思はぬ者は兩者を偏くるものである。

信仰の生活

——座右銘としてこの一篇を讀者に捧ぐ——

ガントレット恒子

一

新年が汝にもたらす最善、最良の賜は、一秒毎に汝の前に擴げらるゝ機會である。此機會を捕へ得る者は智者、之を善用なし得る者は信仰あるもののみである。

マガレット・ソングスター

二

私は年を重ねて、自分の靈の眼が瞭かになるにつれ、悲しみの裏には喜びがひそみ、苦痛の向ふには希望の輝が時を待つて居る事が分る。恰も、暗い夜が更ければ朝の近いのと同じ事だ。

ウキルコルクス

三日

今日受くる重荷に對して、私は感謝の聲は擧け得ないが、然し若し之が聖旨ならば、此重荷を忍びて背負たゝんと、神に祈る事は出來る。

四日

天の父よ、此年をして、主の聖榮の爲に活きる、勝利のとしとなし給へ、常に御前に置き給ひて凡ての罪惡より救ひ、主の御名の爲に働く事を最大の喜悅となさしめ給へ。

ファラー

五日

私共が播く種は土に落ちては必ず元の姿を失ふ、けれども秋の收穫時になれば、生きたものをかり入れる事が出來る。

ファラー

六日

悲哀の中より、眞面目な心が起り、贖罪より感恩の念が現れ、忍耐より不屈の精神が生み出され、救ひの道より信仰が湧き出して來る。

ファラー

七日

我等は我衷なる靈のさゝやきに、靜かに聞ほれることを忘れてはならぬ、活動は反省を伴はぬ時には却つて我この靈魂を荒地の如くする。

C・T・G・

八日

將來を我等の眼界から遮ぎつて居る手は神の大きな御手で而かも其は恵の御手であることを忘れてはならぬ。

九日

完成は凡らゆるものゝ中に潛在して居る、大理石の一つ一つに、マドナの像がひそんで居るので、此處を削り彼處を刻む事を知る人の手に由つて、初めて美しき形となつて現はれる樣に、我々人類も皆神の手に由つて、完成せらるべき可能性を有つて居るのである。

フキトカム・ジイレー

十日

汝はイエスの弟子であるならば、主は汝に「我は常に汝と偕に在らん」とのたまふ聲を聞け、主と偕なる時、凡ての懼と疑は汝を離れ、限りなき力汝に加はらん。

十一日

キリスト者の經驗は、世の悲しみに流す涙と、天より來る恵と眞の光とに由りて現はるゝ虹の如し。

スパルジユン

十二日

神は、いつでも我々の必要に應じて、入用丈の能力と智慧を與へ給ふ事を信ずる者は幸福である。

ラスキン

十三日

汝の擔ふ重荷の急々重きを覺ゆる時、「主よ恵によりて之に堪へさせ給へ」と祈れ、主は必ず求めしより以上の恵を給ひて汝を祝し給はん、蓋悲しみの内にも汝の顔の倘輝くを見る人も亦其祝福の分前を與へらるゝのである。

十四日

一日の勞苦で倒れる人は殆どないと云つてもよい、人のつまづき倒れるは、今日の勞苦の上に、明日の勞苦を重ねて擔はんとするからである。

マクドナルド

十五日

偉大なる人は平凡なる生活を善化し得る人である、幸福なる人は、多く愛し、多く奉仕する人である。

シユライナー

十六日

人を愛することは、愛さるゝことに優る、よし淋しき日が續いても。

マクドナルド

十七日

山の端の木蔭に湧き出づる泉は、尊く嬉しい。人の心に湧き出づる愛の泉は尚其よりも有難く尊い。

十八日

心配と信仰は決して良き道連れにはなり得ぬ。人が信仰に歩む時、心配は自然に姿を消す。

シエーバー

十九日

美容を望む者は、物案じすること澁面作ることをやめねばならぬ、取越苦勞と、腹立つことは、美容の敵。

廿日

汝しらざるか、聞かざるか、エホバはとこしへの神、地のはての創造者にして、倦み給ふことなく、また疲れ給ふことなく、その聰明こそ測りがたし、疲れたる者には力をあたへ、勢力なきものには、強きをまし加へ給ふ。

イザヤ、四〇・二八、二九

廿一日

神に似んことを希ふ者は、神と偕に在らざるべからず、神

を見ることは恵、神を知ることは生命、神を愛することは福、祉神を己がものとなすことは即ち天國である。 C・T・G

廿二日

萬難を排して、神に味方せよ、神は必ず汝の味方となり給ふ。

廿三日

人は其心の善美たらんことを望むべきである、されど外に現はるゝ行爲が之に伴はぬ時は、其れ丈け苦心の美が損はるるのである。

廿四日

なんぢら、とこしへに、エホバによりたのめ、主エホバはとこしへの巖なり。 イザヤ、二六・四

信仰とは、時と所に制限なく、きのふもけふも、來るあしたも、何時でも、何處でも神に依頼むことである。

廿五日

豫言者の第一の任務は、世人の罪をとがめ、或は德義を教へることではなく神の觀念を明に示すことである。 ワツソン

廿六日

花は咲くことが其任務である、人は生きることが其務である、只美しく咲くか正しく活きるかが其値を定めるのである。

廿七日

我軛を負ひて我に學べ、蓋我軛は易く我荷は輕ければなり。

馬太、十一・廿九、三十

女よ心安かれ、爾の信爾を救へり安然にして往け。

ルカ、八・四八

廿八日

美しい一つの笑は一日を飾り、一言の親實な言葉は新しき希望を起すことが出來るとすれば、如何に小い貧しい者でも何事かを人の爲になし得ぬことはない、只心に愛と信仰の蓄さへ豐なれば。

クーレー

王樣の新しいお召物

――アンデルセンの童話集から――

森のみゝづく

昔、ある所に、大層新しい着物のお好きな王樣があつて、立派な衣裳のためならば、どのやうに澤山なお金でも惜しまれませんでした。

　王樣は、兵隊の事も構はず、お芝居にさへ滅多にお出かけにはなりませんでしたが、お馬車でお出掛けの時には、きつと、新しいお召物を見せびらかすためでした。

　日に幾度となくお召し換へがあるので、よその國では「陛下は會議室にゐで遊ばされます」といふところを、此國では、いつも、「陛下はお化粧室にゐで遊ばされます」といふのでした。

　王樣がお住ひになつてゐた此の大きな都は毎日他國の人々が入り込んで來るので、大變賑つて居りました。ところがある日、二人の男が此の町にまゐりました。二人ははた織りで、しかも、これ迄誰も見たこともないやうな立派な織物を造る祕訣を知つてゐるといふことでした。それから又、二人は、織物の色といひ、模樣といひ、いづれも材料と同じやうに立派だが、時にはそれは目に見えぬやうになつてしまふ不思議な力があつて、着物になつてからでも、不適當な地位にゐる人や、愚かな人には決して見えないのですといふやうな僞りまで申しました。

　「そのやうな品でこしらへあげた着物、おゝ、それはよく我れに似合ふであらうな、それを着れば、此の帝國で、どの人物は適任であるとか、又伶俐と馬鹿を見分けることも出來ようといふものだ。さうだ、一つ織つて貰はう」と、王樣はお考へになりました。さうして、早速はたやに命じて、織り始めて呉れるやうにといふので、澤山のお金を前金でお拂ひになりました。

　詐欺師は二つの織機を据ゑて仕事に取りかつつてゐるやうに見せかけました。けれ共、はたの上には何んにも有りませんでした。さうして、立派な價の高い金絲や銀絲を頂きました、けれ共、それはみな袋の中に隱して置いて、何んにも掛かつてゐない空つぽの織機を夜中織つてゐました。

　「織物の方は一體どうなつてゐるか、一つ見たいものだな」と王樣はお考へになりましたけれ共、若しも、陛下御自身が織機の上の織物がお見えにならないといふやうなことでもあらうものなら、人民達は、きつと、王樣を馬鹿だと思ふか、さもなくば、王位にふさはしくないお方だと思ふに違ひないといふ御心配がありました。

　けれ共、とう〳〵、何も恐れる理由はない、心をお決めになりましたが、まづ他の人間を最初に遣つて、どういふ工合に運んでゐるかをお見せになりました。

　全市の人々は、皆、その織物がどんなに不思議な力を持つてゐるか、といふことを知つてゐました。さうして、どれ丈けの人達が不都合な地位に就いてゐるかといふことや、又、自分達の隣り近所の連中の愚かさが、どのやうにさらけ出されるであらうか、といふことを見てやり度いものだと思つて居りました。

　「私は高德で老巧の大臣を織人の所に遣はさう。あれは賢明な人物だから、誰よりしこの

やうな役をするのに適してゐる。きつと、織物のことを見届けて來るに違ひない」と王様はお思ひになりました。

そこで、老大臣は、詐欺師が空っぽの織機で仕事をしてゐる室へ參りました。「神様がお護り下さる！」大臣は大きな眼を織機の上に見据ゑて思ひました。「織機の上に何も見えないといふのは一體どうしたことだ」とも考へたのですが大臣は何んにも口には出しませんでした。

二人の悪者はなか〳〵叮嚀で、大臣に、もつと近くお寄り下さいといつて、その上、模様は非常に綺麗だし、色取りは素晴らしいしのではございませんかと申しました。

お氣の毒にも大臣様は、前よりももつと大きな眼をして近寄つて見ましたが、やはり何も見えませんでした。見えない筈です、何んにも無いんですから。

「なんとしたことか？自分は馬鹿にでもなつたか、それとも今の地位に不適任にでもなつたか、いやさうは思はれぬ。然し、どういふわけで何も見えないのかな」と思ひました。

「さあ、なんと仰せになります。私共のこの出來榮えな」と二人の織人は申しました。

「おほ、如何にも立派ぢや。見事ぢや。何んといふ素的な模様だ、さうして又何といふ素晴らしい色取りだ、よろしい、見た通りをしかと陛下に申し上げようぞ」と、あわてた老紳士は、眼鏡を透して見乍ら申しました。

「これは有難いお言葉でござりまする」二人は美しい模様と色彩とを指さして申しました。

二人の詐僞師は、又も多大の給金と高價な金銀の絲を頂きましたが、前と同じやうに袋の中に隠して少しも用ひませんでした。

王様はやがて又他の大臣をおつかはしになりましたが、この人も、前の大臣のやうに何も見えませんでした。そこで、この大臣は「自分は馬鹿ではない筈だが？してみれば今の地位は適任でないのかなあ、然し、どうもおかしい、兎に角これは一切他人に言はないことだ」と考へました。そこで、ありもしないし、見えもしないものゝ模様や色取りを賞めて、王様に「眞に立派でございます」と言上しました。

都の人々は、皆此美しい織物のことを話し合つてゐました。それで王様も、未だ織機の上にあるその立派な織物をどうかして見たいものだと思召して、大臣方をお伴れになつてお出掛けになりました。その大臣方の中には、前に行つた二人の大臣もゐました。

王様がお近づきになりますと、二人の詐欺師は如何にも一生懸命に織つてゐるやうに見せかけました。

「結構なものではございませぬか。陛下には今少しお近寄り遊ばして、模様や色彩を御覧遊ばされませぬか」と、正直な前の二人の大臣が申しました。二人は、自分達のほかは皆その織物がはつきり見えるのだらうと思つて居りました。

「どうしたことだらう。何も見えない、これは大事だ。自分は愚か者か。或は又、帝王としてふさはしくないといふのか。もしもさういふことであれば、實に大事件だ」とお考へになつて「おゝ、いかにも見事ぢや、實にかなうたぞ」と仰せになつて、御満足らしくうなづかれました。

お伴の人々は、王様がうなづかれた様子のほか織物も何んにも見えなかつたのですが、王様のお言葉にうなづきました。さうして、もう一度王様が「眞に立派であるぞ」と仰せられた時、大臣達は、今度の大行列には、是非、この見事な織物でこしらへた御衣裳をおつけ遊ばしますやうにとおすゝめ申し上げました。さうしてお伴の人々は口々に「いや結

構でございますとか、お見事でございます」とか言つて居りましたが、王様が、二人の機人に「宮内省御用係」といふ肩書をおやりになりました時には、取り分け一同は満足したやうに見えました。

大行列の前の晩になると、例の二人の詐欺師は夜中一生懸命に働いて、廿の燈火をあかあかと點して、自分達が王様の御召物を一生懸命に縫つてゐるぞといふことがよくわかるやうにして置きました。

二人は何も有りもしないくせに、大きな鋏を使つたり、針で縫ふやうに見せかけてゐましたがとうとう「さあ、ごらん下さい、御衣裳が整ひましたぞ」と申しました。

やがて、王様は、一番偉い貴族をお伴にしておいでになりました。二人の詐欺師は、恰度何かを捧げ持つてゐるやうな手つきをして申しました。「これにおずぼんがございます。又お上衣はあれへ。お外套はこちらにございます。して、いづれのお品も皆蜘蛛の巣のやうに軽うございますので、どなた様でもこれをお召しになります時は、恰で何も着てゐないやうにお思ひ遊ばされますが、然し、それが此のお召物の結構なところでございましてー」と申しました。

「お召換へ遊ばしますならば、私共が、この大鏡の前で、陛下のお召換へをさせて頂きまする」と詐欺師は申しました。さうして、陛下がお召物をおぬぎになると如何にも御衣裳をつけてゐるやうに、見せかけて、大鏡の前を王様をあちらを向かせたり、こちらをお向かせしたりして居ました。

やがて、その日の儀式の長が来て、陛下のための天蓋の用意が出来て居りますると申しました。

「よろしい、こちらも仕度は出来てゐる、なんとよく似合ふであらうがな」と仰せになつて今一度大鏡の前をくるりとおまはりになりました。王様は御満足の御様子をお見せになりたかつたのです。

お小姓達は陛下のお召物の裾を持つてゐるやうな手つきをして居りました――お小姓達も、何んにも見えないと思はれることがいやでしたから。

さうして、王様は大行列に加はつて、壮麗な天蓋の下にしづしづと玉歩を運ばれました。すると、町に出てゐる人々も、窓から見てゐる人々も、皆が口を揃へて「まあなんと立派なお衣裳だらう。さうして行列の素晴らしいこと」とほめたてました。

誰一人として、お衣裳なんか何ら見えないとは申しませんでした。そんなことを言つたら大変で、早速、馬鹿だとか、なんとか言はれるにきまつてゐるのでしたから。

王様のお召物で、これほど成功したものは曾てありませんでした。けれ共、子供は正直です。とうとうある子供が、

「だつて、王様はなんにも着てゐないや」と申しました。

「ほんとうだ、この無邪気な子供の言ふことを聞いて下さい」と、その子のお父様が言ひました。さうして、次から次へ、それが人々の耳に聞えてゆきました。

群衆は終にわめきたて「さうだ、まつたくだよ、王様は何も着ておいでにならないんだ」と申しました。

王様のお耳にもそれが聞えました、王様はそれがほんとうだとお思ひになりますので、非常に當惑なさいましたが、

「もはや、行列も進行してゐるのだから、最後迄行かなければならぬ」とお考へになつてお進みになりましたので、お小姓達はまつたく何んにも無いのだとは思つたのですけれ共しまひまでお裾持ちをして行列をつゞけましたとさ。（をはり）

家庭料理

松宮しん

學生招待會の御膳立であつたまぜ御飯と貝ばしらのお吸物とを御紹介いたしませう。

▲まぜ御飯

材料百人前

米一斗、豚肉一貫目、こんにやく十本、油揚五十枚、ごばう二十五本、人參二十五本、さやゑんどう二百匁、サタウ二斤、醬油八合、味の素中瓶一本、

豚肉はモヽ肉を用ひます、丸のまゝ長さ五寸幅二寸位に大切にして湯をかぶる程加へて二時間ほど中火で湯煮をいたします。次に鍋に醬油、サタウスープで甘がらく味をつくつて豚肉を入れ、てりのでるまで裏返しながら煮つめてそれを薄くきつて上から煮つゆをかけて置きます。ごばうはさゝがしにして二三時間水につけて置き豚肉スープとサタウ醬油味の素にてよく煮含める、人參も細くきり水にて洗ひスープサタウ醬油味の素で味をつける、油揚は細くきつて熱湯をかけて油ぬきをし醬油、スープサタウ味の素にて味をつける、こんにやくは細くきり湯煮をして汁をよくきり醬油サタウスープ味の素でよく煮染て置く、さやゑんどうは、兩端をきつて熱湯に鹽少々を投じたなかへ入れて一二分間煮て青くあげて置く、

以上用意が出來たら御飯を普通の水かげんでたき、材料のうち、肉とさやゑんどうをのぞいたものあと全部をあたゝめて置いて、御飯の火をひいた時に御飯の上にのせ再び火をつけて一二分間弱火にかけ、全く火をとめて十五分間蒸らしよくまぜ合せて皿にもり、肉を五切位のせその上にさやゑんどうをかざる、(この御飯の特色は、肉及び野菜全部の煮しるをすてずに全部御飯にまぜる事で、カロリーは十分にでるやうにしてありますし尙、さやゑんどうなぞのなまゆでにはヴィタミンを含んで居ります)

▲貝ばしらの吸物

材料百人前

貝ばしら二百匁、日本葱二十本、味の素、鹽、

貝のはしらを洗ひ、四十分間微溫湯につけて置きそのまゝ水をたして全量で七升位の水にして中火にて一時間煮る、はしら丈すくゐだしてほごして置き、日本葱はたてに四つに割り小口からみじんに切り、はしらと葱を器にもり、はしらのスープのなかへ味の素と鹽を加へて味をつけ熱くして器にまはして供す。

(この吸物の特色は貝はグリゴゲンを多量にふくんでゐてその滋養分は主に汁のなかに流れ出てゐる。尙日本葱をなまのまゝみじん切にして入れゝばその内にヴィタミンが含まれてゐる。

この二品が僅かに一人前三十錢內外の費用で出來ます。

本部だより

□對議會廓清運動

今年の對議會廓清運動は、幸ひ、廓清會の御諒解を得て、萬事同會に御依頼することになりました。

恰度、時機が來たと申しませうか、去る十二月十三日、婦人參政權獲得期成同盟會が出來、久布白落實氏がその總務理事に選ばれて、その大きな使命を負つて起たるゝことになりました。

それで、左右兩手にこの婦人參政權と廓清の二つの使命を握ることは、その何れの方から見ても決して聰明なことではありません。精力の分散！ それは仕事をしようとする者にとつて恐るべきことであります。故に、廓清運動及びその教育を以て起ち、且つは矯風會とはその創立當時から姉妹關係をもつてゐる廓清會に一任することになりました。

廓清會では、近々、星島二郎、松山常次郎、横山勝太郎の三代議士をお招きして御相談し、昨年以來矯風會がやりかけたところの、娼妓の新記登錄不許可の件を提出することになるとのことであります。又、その運動のためには、諸大學專門學校の學生から成る日本學生排酒聯盟の方々七十名ばかりをお招きして御依頼し、その方の主將として宮田修氏が專ら盡力されることになつてゐると承ります。尚議會中は、特に專任の事務員一名をも置き、可なりの運動資金を以て取りかかられることになりました。矯風會からは島田信子、松宮しん子、松浦ちさとの三氏が委員として同會との聯絡を取つてお盡し下さることになりました。

□日本基督教聯盟

日本全國の各派基督教會から成立するこの日本基督教聯盟では、最高幹部として廿一名の常議員があります。

最近、その事業の分擔が出來、益々我が國内に基督教的教化の浸潤するために盡さるゝことになりました。各部を擧ぐれば、傳道部、文學部、社會事業部、教育部、國際部から成り、國際部は田川大吉郎氏、社會事業部は久布白落實夫人が部長となつて、その任にあたらるゝことになつてゐます。既に、傳道部では、二萬圓の豫算で、今年は四十大都市に教化運動を起すため廿名の委員が擧げられ、矯風會傳道部長古田とみ子氏もその委員のお一人として盡力されてゐます。

矯風會はこの聯盟に加入して義務金年額五十圓を納むるほか、臨機の據金をし、久布白幹事は常議員の一人となつて居られます。矯風會が教會と手を連ねて全國の社會教化の仕事にあたることの出來ることは又喜ばしいことであります。

□今年の全國大會

來る四月七日より九日迄三日間金澤支部に於て開催されます。諸姉奮つて御參會下さいませ。

我等の部會

第九回學生招待會

松宮しん

毎年の年中行事の一つである學生招待會は今年は東京部會家庭部の主催のもとに一月五日と定められてゐたつての日午後四時から大久保婦人ホームの清心寮で開きました。守屋姉は舊冬來のどを痛められて久敷引こもり中にもかゝはらず若い姉妹方を督勵してなにくれと御さしづくだされ清心寮の下座敷全部開放して敷ものを敷つめ隨分きれいな大廣間が出來ました。 矢島先生はお床のなかでニコ〳〵と御機嫌にて學生方をよくもてなしてあげてとか寒いからこゝの火ばちももつていつてとか、御膳立の用意は出來たかとか火に氣をつけてとかそれは〳〵この集會のために御心を添へていらつしやいました。

定刻になりまして大勢の學生さん達は次から次に御出になり矢島寮の應接間で休息、その間蓄音機やトランプさてはかるた遊びに、青年男女の方々と中年の夫人もまじつて惑興が盛んにわいてまゐりました。お二階で矢島先生はこの聲をおきゝになつて共々によろこんでお出になりました。

やがて六時に食堂の用意ができました。清心寮は人でうなりました。きれいにかざつにテーブルの上には、いろ紙のコップや皿のなかにキャレデー、みかん、パンなぞおいしさうにならんで居る前にみんな席をしめました。それからあたゝかいまぜ御飯や貝のお惣菜に一同樂しく食事をいたしました。小崎會頭はたつて一同へ御挨拶ニコ〳〵としたお顔はなみゐる青年達に故郷の母をしのばせました。それから司會者岩村やす子夫人の御さしづのもとに自己紹介や五分間演説がはじまりみんな、なにかいゝたくつてモジ〳〵している若い人達の事とてそのお話しは元氣で無邪氣で次から〳〵と續きますので司會者の注意で一まづきり上げ席を改めて餘興にうつりました。最初にオーエンガントレット氏の銀笛はなか〳〵の聞きもので一同がうつとりいたしました。尙フイリッピン學生のギターとバイオリンの合奏朝鮮女學生の合唱支那學生の手品、立教の岡田氏外一名の芋ほりにみんな涙を流して笑ひました。その他得意のかくし藝はつくる所がない位、國母の家に歸つたやうにみな幼な子になつて遊びました。來會者は丸山鶴太郎氏夫妻、フイリッピン、朝鮮、支那、臺灣、帝大、早稻田、慶應、醫專、その他七十名小崎會頭をはじめ岩村、落合、山東、石川、川崎の諸夫人、及合處達本部ホームの職員諸姉連にガントレット服裝研究會の職員諸姉など無慮百名盛會のうちに九時半四百六十番の頌歌、丸山氏の祈禱を以て閉會いたしました。

この催しのために御寄附下さいました芳名

十圓伊藤きん子、五圓づつ小崎千代子、井深花子、赤坂支部、渡瀬かめ子、守屋東、落合てる子、佐々木夫人、松宮しん子、ガントレット恒子、

二圓づつ石田立子、川崎まさ子、一圓岩村やす子、

當日の費用報告、寄附金總額金六十圓、支出總額五十八圓四十九錢、内譯金三十圓〇四錢、(百人前料理費)金二十一圓九十五錢(みかん菓子、パン類)金六圓五十錢(炭、紙、ピン、花、その他)差引金一圓五十一錢殘金

部會の年頭第一の働らきとして惠まれた集會であつた事を感謝にたへません。

おたより

久布白先生

承れば九州路になかせられましては今の世に思も寄らぬ出來事にお出合ひ遊しましたとか。田舍の里深く入つてゐる私共の耳には今日此の頃漸く響いたのでございます。

後れ馳せながら御見舞申上げます。でも御身に何事もなきことを耳にしほんとに幸のことゝ存じました。

今のちとも神の御守り常にあります樣に切に祈つて居ります。

先生を通して生れ出ましたる盛岡支部も四ヶ月といふ歩みを辿つて參りました。今日小さいながらも其の歩みの一部を御知らせ出來ることを大そう嬉しう存じます。どうぞ共におよろこび下さいませ。

生れ出た私共支部の存在を、この盛岡の地に如何にして明かにしようかとは常に私共の頭にあつたことでございました。

幸にも此のたび大阪支部の林歌子樣から同支部の手になつた國民教育繪端書の紹介にあづかりました。早速少しばかし御引受いたすことにいたしそれによつて先私共の第一の歩みの踏み出しに着手させて頂いたのでございました。當盛岡市内に於ける重なる役所、學校、銀行、それ〳〵各々手わけいたしまして幹部の者達は其持場々々にあたつたのでございます。內に外に、神のみ守は豊に、私共の努力はむくいられ思ひもかけぬ好成績を得ましたことはほんとに幸と存じて居ります。其の成績の有樣は只今同便でお送りいたします當地の新聞記事を御らん下さらば、大抵はお推察下さることゝ存じます、各方面に同樣であつたことは申すまでもございません。一同感謝に滿たされて居ります。年の暮れにあたりその存在を明かに――、惠まれ元氣附けられた私共支部は、新しき年の働きに大きな望みを以てなほ進む決心でございます。

終りに望み皆樣の御健康を祈つて居ります。

ポスターを分配した所

縣廳社會課　實踐女學校
市役所　農工銀行
商品陳列事務所　盛岡銀行
農學校　岩手銀行
商業學校　安田銀行
師範學校　九十銀行
中學校　赤十字病院
工業學校　岩手病院
高等農林學校　盛岡病院
江南義塾　圖書館
縣立盛岡高等女學校　郵便局
東北女學校　停車場
家政女學校　(新聞社)
實科女學校

十二月十二日

盛岡支部　恩田　靜子

高口　淳

拜啓晩秋の候に候處益々御すこやかに神の爲め人の爲め日夜御盡し被下難有存じ候扨先日御送附被下候公娼全廢教育運動資金の袋拾枚確かに受取申候早速婦人會の方々に御願ひ致し度之有候處これを見申候私の娘は幼き頃靈南坂日曜學校にて教育を受け候御蔭にて平生禁酒禁煙公娼全廢を主張致し候事とてママさん一つの袋にお入れなさい殘り全部私が引受けるわと申して翌日學校に持參致しクラスの方に御願ひ致した處皆樣大賛成とあつて直ぐ九つの袋は滿たされ凱歌を擧げて歸り候御賛助被下候方々は愛知縣第一高等女學校英語專修科三年生にて多くは名古屋つ子のび〳〵した立派な令孃達左の九氏に御座候

神林喜美　鈴木すゑ
後藤その　加藤ひろ
尾關ひな　松永みつ
柏木八重子　松岡たか
高口雅子

□

私達の待ちに待つたクリスマスも近づきました先生方の教會もさぞお忙しい事と存じます私達の學校も其の日を祝ふ爲いろ〳〵準備をして居ます。

先生が私達の學校にいらしやつて以來私達組一同が相談を致しまして少しでも先生の御事業のお手傳ひをさして頂かうと思つて私達は出來るだけ儉約をしてお小使から出してそれだけのものを集めましたどうぞお受け下さいませ。

金高は大變少なうございますけれどこんなわづかなものがあの可哀想な人を救ふ爲に役立ちますなら私達は誠に幸でございます。六圓八十三錢振替でお送り致します。

西南女學院一年組生徒一同

□

久布白先生

拜啓　今回の運動により會員十五人加入者が有ました前會員一人が一人を導く事の實行は出來ませんでしたが今回御加入下さいました女高師教授越智キヨ先生が久布白落實姉と洋行中御出合になつたさうで大層御賛成下さいまして加入者十五人中十三人迄同氏の御働きで御座います奈良の前途は同先生により發展致し候事と喜んで居ります同氏に婦人新報とカクセイの二雜誌御送り願ひます毎月代價は本會より御送り致ます又久布白様より御手紙でし御送り下さいませ五錢袋も同氏の手にて二百二十一出來ました感謝で御座います」

青年部欄

捜眞學院第二學期の事業の報告をかかれてから思つてゐながら役員の異同其他種々の事にとりまぎれおそくなつてまことにすみません。

九月に於ける例會には禁酒會の頭領でいらつしやる村松氏に御講演を御願ひしました。氏は御經驗を通して我國犯罪者の大部分は精神病者である事、而して其恐ろしい精神病の原因は酒精と梅毒でありこの根本的な二大原因を社會から取去るために矯風會は活動しつつあるが今後もこの全日本を救ふ仕事に益々努力してほしいと强く我矯風會を奬勵して下さいました。十月は會員募集月に就き臨時集會を二十二日に開き林歌子女史の御講演を乞ひました。先生は例の雄辯を振つて我國一國の經濟が現在如何なる窮境にあるかを表を以て明かに示されました。一國の經費、之を内分けして酒と煙草とに費される多額の費用、恐ろしきまでの外債内債の多額如何にして愛する國をこの窮狀より救ひ出すか、吾人各自の額上にふりかゝつてゐるこの借債を拂ふにはまづ第一に費用を有意義にする事即、酒、煙草の費用を絶滅してかゝらなければならない事を力說され其熱辯には聽衆一同强く感激されました。翌二十三日に十月の例會を開き女學部の會員によつて禁酒演說禁酒の歌があり會長より一般會員の募集奮闘を切望されました

十一月の例會には高等部、大學部の有志の我國の現狀に就ての演說がありました。翌月今期最終の集り兼親睦會を家政館で開き全會員で集りそれ〴〵來學期に於ける希望や方針なんぞを語り合ひました。かく省みて二學期の仕事を思ふ時また〳〵たりない所が見出されますが私達小さいものながらお互に一致した心で最上をつくし得て來ました事を感謝して居ります、この他財政上にも繪ハガキポスター等を賣つて少しばかり御助けする事が出來ました。

書記　深田節子

For twenty-three years Mrs Nakazawa has kept silent on this subject, but she now feels that even at the risk of losing her position, the time has come for her to champion the cause of these well qualified and able women......

The President of the Association is Mrs N. O. Kubushiro who needs not introdnction to the readers of this magazine—

The work of the Association has been divided into three departments, Financial, Publishing and Educational, and Presentation of Petitions to the Diet. The name is—The Association for the promotion of Woman Suffrage in Japan — and the Headquarters are at no 2 Koto Hira Cho, Shiba, Tokio. Membersbip cards and pamphlets can be had on application to the Headquarters.

WOMAN SUFFRAGE IN JAPAN.

The old restriction against women attending Political meetings was removed in 1922, at the same time that the Minors' Liquor Law was passed.

Since then various efforts have been made to form an Association for the promotion of Woman Suffrage in Japan, but with very indifferent success.

The W. C. T. U. women now feel, however, that the time is ripe for Woman Suffrage in Japan, so have decided to join the other women who are working toward this end.

On November 13 the of last year a mass meeting was held for all interested in the movement at Okuma Hall in Waseda. 60 women, some of these from out side of city were present, and an Association, whose officers comprise some of the strongest women leaders in Japan, was formed.

Their platform is Suffrage for Women Parliamentary and Municipal and the liberty to form Political clubs—

The organization consists of a central committee composed of 12 officers, one of whom Miss Ichikawa, secretary of Tokyo Department of the International Labour Bureau of the League of nations

Another officer is Mrs. Nakazawa, professor in the Dai San Jo-gakko and a graduate of the Higher Normal School. Mrs Nakazawa has had twenty-three years experience in school-work and she says that all through that period not one of the 2800 graduates of the Higher Normal School has ever been made principal of a public school in Japan or held the position of Government School Inspector.

消息

◇矢島楫子先生、めでたく九十三歳を迎へられました。先生のために三度萬歳を唱へませう。御一緒に。

◇大塚正心氏、目黒慰廢園に癩病患者六十餘名の師父として起臥しを共にされた同氏は、一月二日終に美はしき最後を告げられました。同氏はガントレット副令頭の伯父上にあたられます。

◇植村正久氏、一月八日我國基督教界の巨星突如として我等を去る。賢き牧者は終に再び我等に歸らず。噫！

會計から

一、本部會計
一、婦人新報會計
一、五錢袋會計

いづれも二月末日で締切ります故、何卒そのおつもりで御送り頂きたく存じます。大會の時に御持參下さる分は報告の中に入らず、又事務多忙のため、萬一間違ひが生じないとも限りません。どうかお含み下さいませ。

編輯室から

◇前月號は十二月廿八日に出來て來ましたので、郵便事務の一番多忙な時ではありましたし、案外皆さまのお手許には遲れて届きはしなかつたかと案じました。日本學生排酒聯盟の方々が發送の手傳ひに來て下さることになりました。前月は帝大と早大の方が三人！「聯盟の運動資金を稼ぐんですよ」といふわけで、なか〳〵潑剌たるものです。そのおつもりでお受け取り下さいませ。

◇矢島先生のお話！　それは若い筆を通して皆樣にお傳へするにはあまりに幽しい。けれ共お許し下さいませう。暖い日光が窓硝子を透して射し入る午後、先生のお部室に行つてご覽なさいませ、あの平和そのもの〻やうな穏かな、血色のよいお顔を見る丈けですでになごやかな氣持ちになりませう。私は、よく、「お能の面のやうだ」と申しますが、それでは則り言葉が充分ではございません。殆んど一世紀に亘つて、社會と人世の諸相を觀察し、種々な體驗を經て來た人の靜かな物語り、それはつきせぬ泉を掬む感じがします。（エス・エム・）

社告

婦人新報定價

一部　二十錢郵稅五厘
半年分一圓二十錢
一年分二圓四十錢　郵稅共
（但し海外は郵稅別）

◇廣告御希望の方へは詳細お知らせ致します。
◇送金は凡て振替が便利でございます。
◇誌代は前金、切手代用は一割增。

振替口座東京三二四六九
電話青山五五二五番
編輯及事務所婦人矯風會本部

大正十四年一月廿五日印刷
大正十四年二月一日發行
發行兼印刷人　矢島楫
編輯人　久布白落實
發行所　東京市赤坂區新町三丁目四六番地　婦人新報社
印刷所　東京市小石川區久堅町百八　株式會社博文館印刷所